

信州大学

令和7年度学生募集要項

総合型選抜・学校推薦型選抜

教育学部

経法学部

理学部

医学部保健学科

工学部

農学部

繊維学部

☆ 医学部医学科の学校推薦型選抜については、本年10月以降に別冊で発行予定です。



SHINSHU UNIVERSITY

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、ホームページでお知らせします。

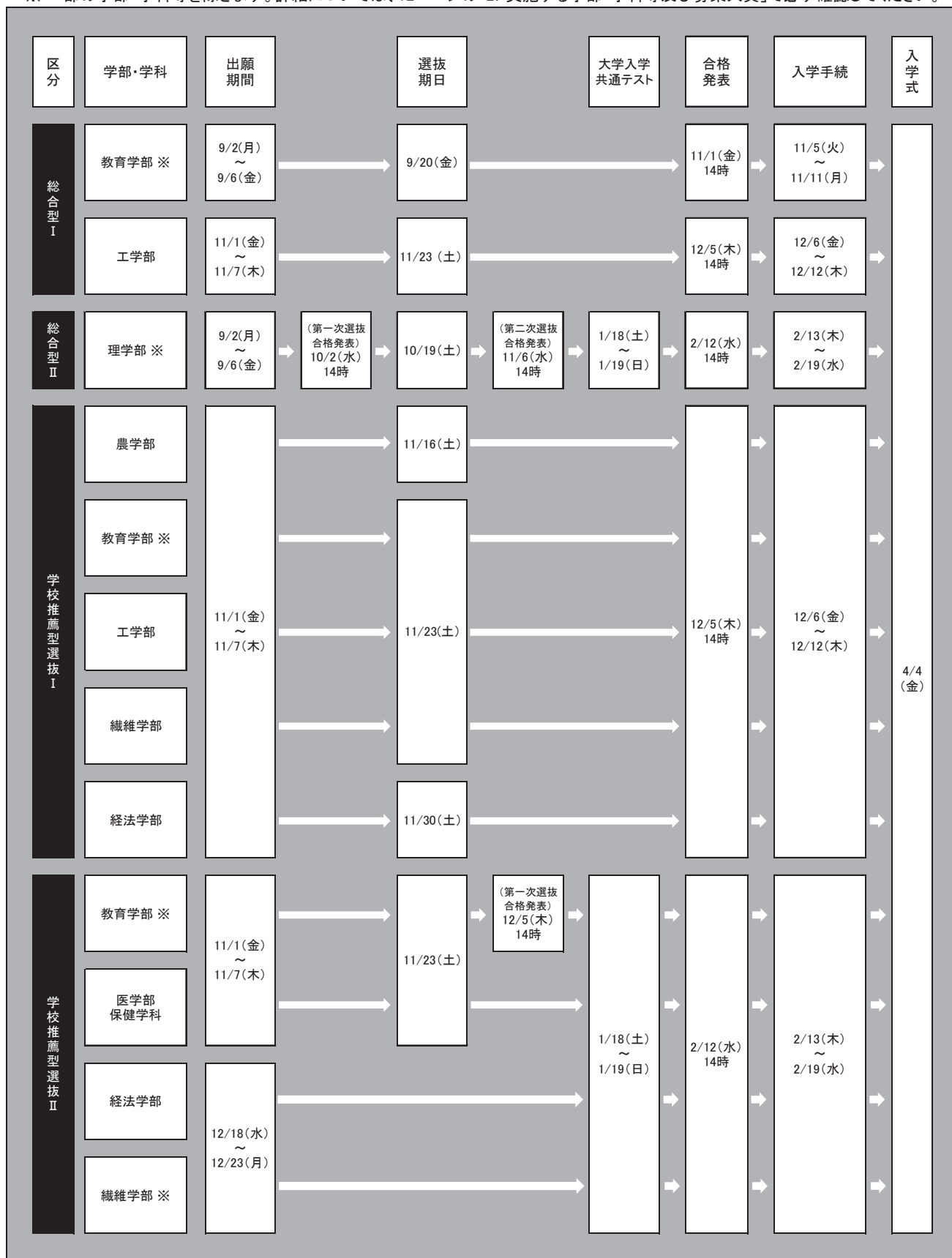
信州大学入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/



令和7年度入学者選抜日程の概要

—総合型選抜・学校推薦型選抜—

※ 一部の学部・学科等を除きます。詳細については、12ページの「2. 実施する学部・学科等及び募集人員」で必ず確認してください。



インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは、出願期間の1週間前から可能です。

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	4
II	各学部に通ずる項目（手続の流れ、方法）	
1.	各選抜の概要	11
2.	実施する学部・学科等及び募集人員	12
3.	各学部・学科等の出願資格等概要	13
4.	出願手続	15
5.	受験に当たっての主な注意事項	19
6.	合格発表	21
7.	入学手続	22
8.	一般選抜への出願	23
9.	受験上の配慮を必要とする方の事前相談	23
10.	個人情報の利用について	24
11.	入試情報の開示	24
12.	その他	25
13.	インターネット出願について	25
III	学部別の項目（出願資格・出願要件、選抜方法及び期日等）	
1.	各選抜に通ずる事項	30
2.	教育学部	33
3.	経法学部	45
4.	理学部	49
5.	医学部保健学科	51
6.	工学部	55
7.	農学部	59
8.	繊維学部	61
IV	各学部試験場案内	65

この「学生募集要項」は必ずダウンロード又は印刷し、熟読してください。

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1 信州大学「入学者受入れの方針」

信州大学は、かけがえのない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であり、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神と高度の専門知識・能力を備えた個性を育てることを教育に関する目標にしています。

信州大学は、この教育に関する目標に基づき、信州大学「学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）で定めた知識・能力等を信州大学「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）で定める教育内容・方法等により卒業までに身につけるため、これらの教育に必要な高等学校修了段階の学力を有する人を求めています。

大学入学までの学習で身につけてほしいこと

高等学校等で履修した科目（各学部において大学入学共通テストで課している科目等）について十分に理解し、相応の学力を身につけていることが望まれます。また、志望する学部や学科ごとに、入学後の授業内容を理解するために身につけておくべきこと（教科・科目等）が示されている場合は、それらを十分に理解していることが望まれます。

2 各学部の「入学者受入れの方針」

(1) 人文学部

信州大学人文学部の教育目標は、専門領域についての深い知識と、領域横断的な課題を解決する能力を兼ね備えた人材、即ち、「実践知」を基盤に人間が関わる様々な事象に対し批判的思考力を駆使することのできる人材の育成です。そのために高等学校等を卒業するまでに学習するすべての教科についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

本学部で学ぶために、以下のことを身につけておいてください。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	高等学校等における学習内容についての幅広い理解	○	○	
2.	人文学諸分野の基礎となる国語、地理歴史、公民、外国語を中心とした高等学校等での学習内容への深い理解	○	○	
3.	人間、社会、歴史、文化、言語、文学、情報、芸術、自然、数理など、考察対象や考察方法への常日頃からの強い興味や関心	○	○	○
4.	人間、社会、歴史、文化、言語、文学、情報、芸術、自然、数理などを探究し表現するための基本となる、思考力とコミュニケーション能力		○	○

上記の素養を持つ学生を幅広く選抜するために、本学部は各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

(2) 教育学部

信州大学教育学部では、「臨床の知」の理念のもと、附属学校園と一体となり、教育委員会や諸学校と連携し豊かな人間性と専門知識及び実践的な指導力を身につけた、明日の教育を担う人材の育成を目指しています。そのため本学部では次のような力を備えた学生を求めています。

本学部で学ぶために、以下のことを身につけておいてください。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	明日の教育を担う専門的知識や教養を身につけるために高等学校等を卒業するまでに習得する十分な基礎的学力、又はそれに相当する学力	○	○	
2.	既存の知識を活用しながら自分で考え、判断し、他者と協働して問題を解決していくために不可欠で基本的な思考力や表現力		○	○
3.	教育者として子どもに寄り添い、理論と実践を往還させつつ自ら学び、社会の発展に寄与しようとする強い意志			○

本学部には、現代教育コース、野外教育コース、国語教育コース、英語教育コース、社会科教育コース、数学教育コース、理科教育コース、音楽教育コース、図画工作・美術教育コース、保健体育コース、ものづくり・技術教育コース、家庭科教育コース、特別支援教育コース、心理支援教育コースがあり、入学者の選抜をコースごとに実施します。

これらの各コースで専門性を磨くとともに、小学校の教員を目指す学生には各教科に対する得手、不得手を超えて、各教科にわたる広い教養と確かな学力とを身につけることを求め、中学校・高等学校の教員を目指す学生には各教科の専門的な学力と実践的な指導力とを身につけることを求めています。このため、教育学部では、高等学校等において、それぞれの教科に対する基礎的で確かな学力と専門領域を深めるための学力とを身につけておくことを望みます。

《大学入学までに身につけておくべき教科・科目等》

教科	身につけておくべき内容
国語	国語を的確に理解し、国語で効果的に伝え合うための思考力・判断力・表現力等 また、現代文、古文、漢文における確かな知識及び技能
地理歴史 公民	社会科（地理、歴史、公民）における基礎的な知識・技能、社会的事象に対する思考力・判断力・表現力、及び社会の諸課題の解決に向けて主体的・協働的に学ぶ姿勢
数学	数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）における基礎的な知識、及び数学的な見方・考え方
理科	理科（物理、化学、生物、地学から2分野以上）における基礎的な知識、及び科学的な見方・考え方
外国語	目的に応じて情報や考えなどを正確に理解したり表現したりする英語によるコミュニケーション能力
情報	情報処理における基礎的な知識・技能
家庭	家庭生活全般に関する基礎的な知識・技能、及びそれらを活用した思考力・判断力・表現力等
芸術	芸術（音楽、美術、工芸、書道分野）に関する基礎的な知識・技能、及び表現力・鑑賞力
保健体育	スポーツや健康に関する基礎的な知識、及び基本的な運動能力

※ ただし、中学校・高等学校の教員を志望する学生には、上表で示されている教科・科目等の内容に加えて、教員免許状取得を希望する教科の内容及びその関連教科・科目等の内容に関する確かな学力を身につけておくことを望みます（例えば、「数学」及び「理科」の教員免許状取得を希望する学生については、「数学Ⅲ」を含めた数学全般の内容に関する専門的な学力を身につけておくことを望みます）。

上記の素養を持つ学生を幅広く選抜するために、本学部は各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

(3) 経法学部

信州大学経法学部は、経済学または法学を体系的に修得した上で、身につけた専門性を現代社会のさまざまな課題の現場で発揮し、課題解決のために能動的に貢献できる人材の育成を目標としています。そのために高等学校等を卒業するまでに学習するすべての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

本学部で学ぶために、高等学校等の各教科については以下のことを十分に身につけておいてください。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	高等学校等における学習内容の幅広い理解	○	○	
2.	社会科学諸分野の基礎となる高等学校等での国語、地理歴史、公民、英語等の学習内容の深い理解	○	○	
3.	問題解決に際して、冷静で論理立った考察や、事実の観察、データの分析に基づいて思考できる資質	○	○	○
4.	人口減少、高齢化の進展など、地域が直面する具体的な課題について問題意識を抱き、その解決に取り組む強い意欲			○
5.	現在社会が直面する様々な不確実性、リスク、価値観や意見の違い、紛争、多様性などにひるまず、これらに積極的に立ち向かうチャレンジ精神			○
6.	幅広い視野を持ち、様々な学問領域で生み出された成果や研究方法を総合的に取り入れながら真理を探究する姿勢			○

本学部では、上記の素養を持つ学生を幅広く選抜するために、各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

(4) 理学部

信州大学理学部は、学部の基本理念・教育目標に基づき、次のような学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、外国語、情報で学習したことを身につけている	○	○	
2.	理学部の専門科目を学ぶ上で基礎となる数学、理科を能動的に学び、その学力を身につけている	○	○	
3.	ものごとを論理的にとらえて深く考え、自分の考えについて筋道を立てて表現することができる	○	○	
4.	自然界の多種多様な現象に対する旺盛な知的好奇心や探究心を持つとともに、協力して課題解決に取り組むために必要な力を有している		○	○

《大学入学までに身につけておくべき教科・科目等》

数学科	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C	
理学科	物理学コース	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C、物理
	化学コース	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C、物理、化学
	地球学コース	物理、化学、生物、地学から2科目以上
	生物学コース	生物
	物質循環学コース	物理、化学、生物、地学から2科目以上

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

なお、理学科には、数学科と理学科があり学科ごとに募集が行われますが、理学科の入学選抜は、物理学コース、化学コース、地球学コース、生物学コース及び物質循環学コースごとに実施します。

(5) 医学部医学科

信州大学医学部医学科では次のような学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	医師となる明確な目的意識を持っている			○
2.	大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報で学習したことを身につけ、医学を学んでゆくにあって必要な基礎学力がある	○	○	
3.	医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っている		○	○
4.	病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている			○
5.	将来の人類のために創造的な医学研究を志向するために必要な思考力・判断力の素養と探究心を持っている		○	○

《大学入学までに身につけておくべき教科・科目等》

国語	十分な読解力、思考力、表現力、会話能力
地理歴史 公民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と社会的素養
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学Cについての十分な知識・技能と数学的思考
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎の3科目、及び物理、化学、生物から2科目以上についての知識と科学的な思考力
英語	十分な読解力、表現力、会話能力
情報	情報処理における基礎的な知識・技能

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

(6) 医学部保健学科

信州大学医学部保健学科は、専門性の異なる看護学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻で構成され、豊かな人間性、広い学問的視野と課題探究能力を身につけた高度な保健・医療の専門職者や保健学研究者を育成することで、保健学の教育・研究と保健・医療活動を発展させ、地域貢献を果たすことを目標にしています。このため、

保健学科では、卒業時における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に到達可能な入学者を受け入れることを目的として、次のような学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	社会に対し積極的に関わり、“人”に深い関心と思いやりの心を持ち、保健・医療分野の専門職としての役割を果たそうとする明確な目的意識と高い倫理観を持っている			○
2.	大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報で学習したことを身につけ、保健学科で専門分野を学んでゆくにあたって必要な基礎学力と論理的思考力がある	○	○	
3.	絶え間なく進歩する科学を保健・医療に適用していくための判断力・思考力・表現力の素養と国際的視野を持っている	○	○	○

《大学入学までに学んでほしいこと》

保健・医療領域における専門職者の役割は、拡大し、多様化してきました。保健・医療専門職者には、人間の命の尊さを真摯に理解し、人を思いやる心を持ち、幅広い基礎知識と応用力、たゆみない探究心により、社会に対しても積極的に関わり役割を果たそうとする意欲を持つことが求められます。このため、保健学科に入学するまでに高等学校等において次のような学力を身につけていることが望まれます。また、高等学校等での特別活動や課外活動を通じて、自主的、協調的な態度や思いやりの心と社会的倫理観を養っておくことが強く望まれます。

国語	基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力
地理歴史 公民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と応用力
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cの知識と論理的思考方法
理科	物理、化学、生物の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
英語	基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力
情報	情報処理における基礎的な知識・技能

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

(7) 工学部

信州大学工学部は、豊かな教養と工学の幅広い専門知識を持ち、科学技術と環境保全との調和に深く関心を持って、社会の様々な課題を発見・解決できる工学系高度専門職業人の養成を目標にしています。そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	大学入学前の高等学校の課程等を幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報で学習したことを身につけている	○	○	

2.	工学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、理科、外国語に優れている	○	○	
3.	科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について学ぶことに強い意欲を持つとともに学ぶために必要な論理的思考力・判断力・表現力の素養を持っている		○	○
4.	向上心があり、自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する			○
5.	工学に関わる技術者、研究者として社会をリードしようとする意欲があり、その技術と知識をもって社会に貢献する明確な目的意識を持っている			○

《大学入学までに身につけておくことが望ましい教科・科目等》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、工学部での授業内容を理解する基礎となる教科である数学、理科、外国語に関しては、下記の科目の内容を理解し、身につけておくことが望まれます。

数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C
理 科	物理基礎、物理、化学基礎、化学
外国語	英語の十分な読解力、表現力、会話能力

上記1～5の素養を持つ学生を幅広く選抜するために、本学部では各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

(8) 農学部

信州大学農学部は、生命科学分野の基礎能力と農学分野の応用力を身につけ、持続的社会の創造に貢献する人間性豊かな専門職業人の養成を目標にしています。そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報で学習したことを身につけている	○	○	
2.	農学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、物理学、化学、生物学、語学などに優れている	○	○	
3.	生命科学や農林業技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持つとともに論理的思考力・判断力・表現力等の素養を持ち、これらについて学びたいと考えている		○	○
4.	生命科学や農学分野の実験や実習、講義、課題探求に意欲的に参加できる			○
5.	自然と人が共生する持続的社会の創造を目指して、社会に貢献する明確な目的意識を持っている			○

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

(9) 繊維学部

信州大学繊維学部は衣・食・住の要である“繊維”に根ざした先進的な科学技術を背景として、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者の養成を目標にしています。

本学部ではこの目標に基づき、次のような意欲を持った学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報で学習したことを身につけている	○	○	
2.	現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持ち、それらを学ぶために必要な思考力・判断力・表現力の素養を持っている		○	○
3.	日々進化する科学と技術に対応して学び続け、より高い専門的・実践的能力を得ることに明確な目的意識と強い勉学意欲を持っている			○
4.	地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持っている			○

《大学入学までに身につけておくべき教科・科目》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報等、履修するすべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、繊維学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学及び理科に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

普通科の場合

学 科	理 科	数 学
先進繊維・感性工学科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C
機械・ロボット学科	物理基礎、物理	
化学・材料学科	化学基礎、化学、物理基礎、物理	
応用生物科学科	生物基礎、生物、化学基礎、化学	

普通科以外の場合

各高等学校等の教育課程表に従い、履修可能な数学及び理科に関するできるだけ多くの科目

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、各選抜の学生募集要項に示す入学試験を実施します。

Ⅱ 各学部に共通する項目（手続の流れ、方法）

1. 各選抜の概要

(1) 総合型選抜

受験者自らが、自己推薦により応募する選抜です。

総合型選抜の項において、「高等学校」には「中等教育学校」を含むものとします。

大学入学共通テストを課さない「総合型選抜Ⅰ」と、大学入学共通テストを課す「総合型選抜Ⅱ」を実施します。

(2) 学校推薦型選抜

高等学校（学校推薦型選抜の項において、「高等学校」には「中等教育学校」、「特別支援学校の高等部」及び我が国の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして文部科学大臣が認定又は指定した「在外教育施設」並びに文部科学大臣の指定を受けた「専修学校高等課程の学科」を含むものとし、これらの学校の長を「学校長」といいます。）の長からの推薦に基づき、大学入学共通テストを課さない「学校推薦型選抜Ⅰ」と、大学入学共通テストを課す「学校推薦型選抜Ⅱ」を実施します。

※ 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課すもの及び課さないものを含めて）への出願は、一つの大学・学部に限ります。

ただし、信州大学経法学部又は繊維学部（先進繊維・感性工学科、機械・ロボット学科、化学・材料学科）の大学入学共通テストを課さない「学校推薦型選抜Ⅰ」に不合格となった方は、同一学科を志望する場合に限り、本学当該学部の大学入学共通テストを課す「学校推薦型選抜Ⅱ」に出願することができます。

2. 実施する学部・学科等及び募集人員

学 部	学科・課程等		募 集 人 員				
			総合型 選抜Ⅰ (大学入学共通テ ストを課さない)	総合型 選抜Ⅱ (大学入学共通テ ストを課す)	学校推薦型 選抜Ⅰ (大学入学共通テ ストを課さない)	学校推薦型 選抜Ⅱ (大学入学共通テ ストを課す)	
教 育 学 部	学校教育教員 養成課程	現代教育コース	5			13	
		野外教育コース				4	
		国語教育コース	3			5	
		英語教育コース				4	
		社会科教育コース				6	
		数学教育コース				4	
		理科教育コース				4	
		音楽教育コース				3	
		図画工作・美術教育コース				3	3
		保健体育コース					3
		ものづくり・技術教育コース	2				
		家庭科教育コース					
		特別支援教育コース	4				3
		心理支援教育コース	2				2
		計	16				3
経 法 学 部	応用経済学科				20	20	
	総合法律学科				10	10	
	計				30	30	
理 学 部	理学科	地球学コース		4			
		小計		4			
医 学 部	保健学科	看護学専攻				20	
		検査技術科学専攻				5	
		理学療法学専攻				6	
		作業療法学専攻				5	
		小計				36	
工 学 部	物質化学科		(1) 1			7	
	電子情報システム工学科		(6) 6			24	
	水環境・土木工学科		(1) 1			7	
	機械システム工学科		(3) 3			12	
	建築学科		(1) 1			1	
	計		(12) 12			51	
農 学 部	農学生命科学科	生命・食品科学コース			(6) 6	9	
		食料生産システム科学コース			15		
		山岳圏森林・環境共生学コース			9		
		地域協創特別コース			5		
		計			(6) 44		
繊 維 学 部	先進繊維・感性工学科				(2) 23	3	
	機械・ロボット学科				10	3	
	化学・材料学科				(1) 20	3	
	応用生物科学科				12		
	計				(3) 65	9	

※ 工学部の総合型選抜及び農学部、繊維学部の学校推薦型選抜の()内は、高等学校の職業教育を主とする学科(農学部については高等学校の職業教育を主とする学科又は総合学科(職業教育に関する科目を20単位以上)、繊維学部 化学・材料学科については工業に関する学科)対象の募集人員を内数で示したものです。

※ 総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の募集人員に加えます。

※ 人文学部は総合型選抜・学校推薦型選抜を実施しません。

☆ 医学部医学科の学校推薦型選抜学生募集要項は本年10月以降に別冊で発行予定です。

3. 各学部・学科等の出願資格等概要

詳細については、30 ページ以降の「Ⅲ 学部別の項目」における各学部の出願資格及び出願要件または推薦要件をご覧ください。

(1) 総合型選抜

学部	学科等		選抜区分	大学入学共通テスト	募集枠 ※	出願資格等概要	
						卒業(見込)年月日	評定・成績
教育学部	学校教育教員養成課程	現代教育コース 国語教育コース ものづくり・技術教育コース 特別支援教育コース 心理支援教育コース	総合型選抜Ⅰ	課さない	—	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	全体の学習 成績の状況 3.5以上
理学部	理学科	地球学コース	総合型選抜Ⅱ	課す 「6教科8科目」	—	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	—
工学部	全学科		総合型選抜Ⅰ	課さない	職業有	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	全体の学習 成績の状況 4.0以上

※ 募集枠欄表記の意味については、次のとおりです。

「職業有」： 高等学校の職業教育を主とする学科等対象の募集人員枠があります。人数については、12 ページ「2. 実施する学部・学科等及び募集人員」をご覧ください。

「—」： 特定地域及び特定学科を対象とした募集枠はありません。

(2) 学校推薦型選抜

学部	学科等		選抜区分	大学入学共通 テスト	募集枠 ※	推薦 できる 人数上限	出願資格等概要	
							卒業(見込)年月日	評定・成績
教育学部	学校教育教員養成課程	図画工作・美術教育コース	学校推薦型 選抜Ⅰ	課さない	長野県外 (推薦要件①)	1人	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	全体の学習 成績の状況 4.0以上
		現代教育コース 野外教育コース 国語教育コース 英語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 音楽教育コース 保健体育コース 特別支援教育コース 心理支援教育コース	学校推薦型 選抜Ⅱ	課す (教科・科目数は コースによる)	長野県外 (推薦要件①)	各コース 1人		
経法学部	全学科		学校推薦型 選抜Ⅰ	課さない	—	制限 なし	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	一部要件有 (全体の学習 成績の状況 4.0以上)
			学校推薦型 選抜Ⅱ	課す 「5教科7科目」 又は 「6教科7科目」	—	制限 なし	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	—

学部	学科等		選抜区分	大学入学共通テスト	募集枠※	推薦できる人数上限	出願資格及び推薦要件概要	
							卒業(見込)年月日	評定・成績
医学部	保健学科	看護学専攻	学校推薦型選抜Ⅱ	課す 「6教科7科目」	—	3人	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	全体の学習成績の状況 4.0以上
		検査技術科学専攻 理学療法専攻	学校推薦型選抜Ⅱ	課す 「6教科8科目」	—	各専攻 2人	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	全体の学習成績の状況 4.0以上
		作業療法学専攻	学校推薦型選抜Ⅱ	課す 「6教科7科目」	—	2人	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	全体の学習成績の状況 4.0以上
工学部	全学科		学校推薦型選抜Ⅰ	課さない	—	制限なし	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	優秀な方
農学部	農学生命科学科 全コース		学校推薦型選抜Ⅰ	課さない	職業有	制限なし	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	全体の学習成績の状況 4.0以上
繊維学部	全学科		学校推薦型選抜Ⅰ	課さない	職業有	制限なし	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	優れている方
	先進繊維・感性工学科 機械・ロボット学科 化学・材料学科		学校推薦型選抜Ⅱ	課す 「3教科4科目」	—	制限なし	令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日	優れている方

※ 募集枠欄表記の意味については、次のとおりです。

「長野県外(推薦要件①)」：長野県外高等学校の推薦における要件です。

「長野県内(推薦要件②)」：長野県内高等学校の推薦における要件です。

「職業有」：高等学校の職業教育を主とする学科等対象の募集人員枠があります。人数については、12ページ「2. 実施する学部・学科等及び募集人員」をご覧ください。

「—」：特定地域及び特定学科を対象とした募集枠はありません。

4. 出願手続

(1) 提出先及び出願期間

選抜区分	学部等	提出先（問い合わせ先）	出願期間
総合型Ⅰ	教育学部	〒380-8544 長野市西長野 6 の口 TEL026-238-4044	令和6年9月2日（月）～9月6日（金） （締切日 17 時まで に必着。ただし、締切を過ぎて到着した場合、締切日前日までの消印があるものは受理します。） ※インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは8月26日（月）から可能です。
	工学部	〒380-8553 長野市若里 4-17-1 TEL026-269-5055	令和6年11月1日（金）～11月7日（木） （締切日 17 時まで に必着。ただし、締切を過ぎて到着した場合、締切日前日までの消印があるものは受理します。） ※インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは10月25日（金）から可能です。
総合型Ⅱ	理学部	〒390-8621 松本市旭 3-1-1 TEL0263-37-2439	令和6年9月2日（月）～9月6日（金） （締切日 17 時まで に必着。ただし、締切を過ぎて到着した場合、締切日前日までの消印があるものは受理します。） ※インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは8月26日（月）から可能です。
学校推薦型Ⅰ	教育学部	〒380-8544 長野市西長野 6 の口 TEL026-238-4044	令和6年11月1日（金）～11月7日（木） （締切日 17 時まで に必着。ただし、締切を過ぎて到着した場合、締切日前日までの消印があるものは受理します。） ※インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは10月25日（金）から可能です。
	経法学部	〒390-8621 松本市旭 3-1-1 TEL0263-37-3312	
	工学部	〒380-8553 長野市若里 4-17-1 TEL026-269-5055	
	農学部	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304 TEL0265-77-1310	
	繊維学部	〒386-8567 上田市常田 3-15-1 TEL0268-21-5310	
学校推薦型Ⅱ	教育学部	〒380-8544 長野市西長野 6 の口 TEL026-238-4044	令和6年11月1日（金）～11月7日（木） （締切日 17 時まで に必着。ただし、締切を過ぎて到着した場合、締切日前日までの消印があるものは受理します。） ※インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは10月25日（金）から可能です。
	医学部保健学科	〒390-8621 松本市旭 3-1-1 TEL0263-37-2357	
	経法学部	〒390-8621 松本市旭 3-1-1 TEL0263-37-3312	令和6年12月18日（水）～12月23日（月） （締切日 17 時まで に必着。ただし、締切を過ぎて到着した場合、締切日前日までの消印があるものは受理します。） ※インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払いは12月11日（水）から可能です。
	繊維学部	〒386-8567 上田市常田 3-15-1 TEL0268-21-5310	

(注) インターネット出願登録サイトへの登録だけでは出願手続は完了しません。
出願期間内に出願書類等を郵送することで完了します。

(2) 出願方法等

以下の①から③までの手続を行ってください。

① インターネットによる出願情報の登録（顔写真のアップロードを含む。）

※ インターネット出願の詳細については、25 ページからの「13. インターネット出願について」を参照してください。

② 入学検定料の支払い

ア 入学検定料 17,000 円

※入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。

イ 支払期間

選抜区分	学部等	支払期間
総合型Ⅰ	教育学部	令和6年8月26日（月）～9月6日（金）
	工学部	令和6年10月25日（金）～11月7日（木）
総合型Ⅱ	理学部	令和6年8月26日（月）～9月6日（金）
学校推薦型Ⅰ	教育学部	令和6年10月25日（金）～11月7日（木）
	経法学部	
	工学部	
	農学部	
学校推薦型Ⅱ	教育学部	令和6年10月25日（金）～11月7日（木）
	医学部保健学科	
	経法学部	令和6年12月11日（水）～12月23日（月）
	繊維学部	

（注1）支払期限は、申込日を含め4日間です。（締切が4日より短い場合、締切が優先されます。）

（注2）支払方法の詳細については、28 ページの「13. インターネット出願について（Step5 入学検定料の支払い）」を参照してください。

③ 出願書類等の提出（郵送）

出願確認票をインターネット出願登録サイトから印刷し、調査書等の必要書類（「(3) 出願書類等」を参照）とともに市販の角形2号封筒（240 mm×332 mm）に入れます。その封筒に出願登録サイトから印刷した宛名シートを貼り付け、志望する学部下表のいずれかの方法により郵送してください。

選抜区分	学部等	志願者が郵送	学校長がまとめて郵送
総合型Ⅰ・Ⅱ	教育学部 理学部 工学部	出願書類等が入った封筒を簡易書留速達郵便で郵送してください。	不可
学校推薦型Ⅰ・Ⅱ	教育学部 経法学部 医学部保健学科 工学部 農学部 繊維学部	出願書類等が入った封筒を簡易書留速達郵便で郵送してください。	出願書類等が入った封筒を学校長に提出し、学校長はそれらを一括して、学部ごとに用意した封筒に入れ、「出願書類在中（卒業見込み○名、既卒○名）」と朱書きのうえ、各学部の提出先に簡易書留速達郵便で郵送してください。

(3) 出願書類等

入学志願者は、出願する選抜区分・学部ごとに次の書類等を取り揃えて出願期間内に提出してください。

① インターネット出願登録後、マイページから印刷する書類等

※ 印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

出願書類等	選抜区分	学部等	摘 要
1 出願確認票	総合型Ⅰ・Ⅱ 学校推薦型Ⅰ・Ⅱ	全学部	A4サイズ用の紙に印刷してください（白黒印刷可）。
2 宛名シート	総合型Ⅰ・Ⅱ 学校推薦型Ⅰ・Ⅱ	全学部	印刷したものを市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、出願書類等を入れてください。

② 出願登録サイトでアップロードが必要なもの（郵送による提出不要）

3 写 真	総合型Ⅰ・Ⅱ 学校推薦型Ⅰ・Ⅱ	全学部	写真データ（ファイル形式（jpeg、jpg、png、bmp）、データ容量10MBまで）を用意してください。 出願登録サイトで、志願者本人の顔写真（出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景無しのもの）のアップロードを行ってください。 不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。
-------	--------------------	-----	--

③ 志願者が準備する書類等

4 調 査 書	総合型Ⅰ・Ⅱ 学校推薦型Ⅰ・Ⅱ	全学部	学校長が文部科学省の定めた様式により作成のうえ、 厳封 してください。
5 活 動 調 査 書 添付用成績等 証明資料 (野外教育コース)	学校推薦型Ⅱ	教育学部 野外教育 コース	野外教育コースについての活動調書における記入事項の成績等を証明する資料を必ず活動調書に添付してください。 (活動調書の「記入上の注意」を参照してください。)
6 活 動 調 査 書 添付用成績等 証明資料 (保健体育コース)	学校推薦型Ⅱ	教育学部 保健体育 コース	保健体育コースについての活動調書における記入事項の成績等を証明する資料を必ず活動調書に添付してください。 (活動調書の「記入上の注意」を参照してください。)
7 大学入学共通 テスト 成績請求票 (※経法学部、 繊維学部以外は 後日提出)	学校推薦型Ⅱ	全学部	令和6年12月に大学入試センターから受験票と共に送付される「令和7年度大学入学共通テスト成績請求票（国公立推薦型選抜用）」を提出してください。 経法学部、繊維学部は出願確認票の指定欄に貼り付けてください。 それ以外の学部については、提出期限を、 令和6年12月25日（水）（必着） とします。 成績請求票が手元に届き次第、出願登録サイトから改めて出願確認票を印刷し、成績請求票を指定欄に貼り付け、簡易書留郵便にて郵送してください。郵送には市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に出願登録サイトから出力した宛名シートを貼り付けたものを使用してください。
	総合型Ⅱ	理学部	第二次選抜により合格が内定した方に限り、令和6年12月に大学入試センターから受験票と共に送付される「令和7年度大学入学共通テスト成績請求票（国公立総合型選抜用）」を提出してください。提出期限を、 令和6年12月25日（水）（必着） とします。 成績請求票が手元に届き次第、出願登録サイトから改めて出願確認票を印刷し、成績請求票を指定欄に貼り付け、簡易書留郵便にて郵送してください。郵送には市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に出願登録サイトから出力した宛名シートを貼り付けたものを使用してください。

④ 本学のホームページ（入試情報ポータル/入試要項 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）から印刷して準備する書類

8 自己推薦書・ 志望理由書	総合型Ⅰ・Ⅱ	全学部	所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、所要事項を記入してください。
-------------------	--------	-----	--

9	推薦書	学校推薦型Ⅰ・Ⅱ	全学部	<p>学校長が下記要領で作成し、厳封してください。</p> <p>所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ（必ず両面印刷で作成してください。）、所要事項を記入してください。</p>
10	志望理由書	学校推薦型Ⅰ	教育学部 工学部 農学部 繊維学部	<p>所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、所要事項を記入してください。</p> <p>※ 提出を必要とする学部、学科等は、学校推薦型Ⅰと学校推薦型Ⅱで異なりますので、注意してください。</p>
		学校推薦型Ⅱ	全学部	
11	自己申告書	学校推薦型Ⅰ	経法学部	<p>所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、所要事項を記入してください。</p>
12	実績証明書等添付用紙	学校推薦型Ⅰ	経法学部	<p>出願資格（b）～（f）に該当する方は、所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、所要事項を記入し、資料を貼り付けてください。</p>
13	音楽実技検査自由曲曲目届	学校推薦型Ⅱ	教育学部 音楽教育コース	<p>所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、所要事項を記入してください。</p>
14	活動調書A B (美術・工芸制作に関する調書)	学校推薦型Ⅰ	教育学部 図画工作・美術教育コース	<p>学校長が下記要領で作成してください。</p> <p>所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A3サイズで片面1枚となるように印刷のうえ、所要事項を記入してください。</p>
15	活動調書 (野外教育コース)	学校推薦型Ⅱ	教育学部 野外教育コース	<p>学校長が下記要領で作成してください。</p> <p>所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、所要事項を記入し、成績等証明資料を添付してください。</p>
16	活動調書 (保健体育コース)	学校推薦型Ⅱ	教育学部 保健体育コース	<p>学校長が下記要領で作成してください。</p> <p>所定の様式を本学ホームページ入試情報ポータルからダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、所要事項を記入し、成績等証明資料を添付してください。</p>

【書類記入上の注意】

- ・ 学校長作成の書類以外は、原則志願者本人が作成してください（病気・負傷や障害等のため記入が困難な場合は、保護者等が作成してください。）。
- ・ 手書きの際は黒か青のボールペン又はインクを用いて記入してください。
- ・ 誤って記入した場合は、誤った箇所に二重線を引き、訂正してください。
- ・ 様式中の※印欄は記入しないでください。

(4) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）に出願することができるのは、一つの大学・学部のみです。ただし、信州大学経法学部又は繊維学部（先進繊維・感性工学科、機械・ロボット学科、化学・材料学科）の学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった方は、同一学科を志望する場合に限り、本学当該学部の学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。その場合、16ページの「(2) 出願方法等」に従い出願手続を行ってください。

- ② 国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施した大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜合格者とはなりませんので注意してください。
- ③ 国公立大学・学部の総合型選抜の合格者は、当該総合型選抜を実施した大学・学部の定める入学辞退手続により「入学辞退届」を受理された場合を除いて、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜合格者とはなりませんので注意してください。
- ※ 公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org/>) 参照
- ④ 入学検定料支払期間内に入学検定料が支払われないもの及び出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ⑤ 出願書類等の提出後は、志望学部、学科、課程、コース及び専攻の変更は、認めません。
- ⑥ 受理した書類等は、お返しできません。
また、本学が求める出願書類以外のものは添付しないでください（お返しできません。）。
- ⑦ 支払済みの入学検定料は、総合型選抜Ⅱにおいて第一次選抜の結果不合格となった方以外には、お返しできません。
なお、入学検定料を誤って二重に支払った場合又は支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により支払われた入学検定料（二重に支払った場合は重複して支払われた分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページをご覧ください。（入試情報ポータル／入学検定料返還手続 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）
- ⑧ 提出された書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ⑨ 書類等の提出後、受信場所（志願者連絡先）を変更した場合は、直ちに所属した学部の入試事務室に届け出てください。
- ⑩ 総合型選抜Ⅱにおいて、合格内定の発表後、令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験していないことが判明した場合は、最終合格者とはなりませんので注意してください。

5. 受験に当たっての主な注意事項

(1) 受験票

① 受験票の発行

<総合型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ>

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願登録サイトからダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定のお知らせメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。（白黒印刷可）

なお、印刷した受験票は、**試験当日に必ず持参**してください。

※ 受験番号確定のお知らせメールが出願期間後3日間（経法学部に出願している方は1週間）経過しても届かない場合は、速やかに所属した学部の入試事務室に問い合わせてください。

<総合型選抜Ⅱ>

出願受理後、インターネット出願登録サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定のお知らせメールを送信しますので、受験番号を控えておいてください。（この時点では受験票は印刷できません。）

第一次選抜合格発表後、合格した方は、出願登録サイトのマイページに「受験票」ボタンが表示されます。合格者はこのボタンから受験票を印刷してください。（白黒印刷可）

なお、印刷した受験票は、**第二次選抜受験当日に必ず持参**してください。

※ 第二次選抜試験日の1週間前になっても「受験票」ボタンが表示されない場合は、速やかに理学部入試事務室に問い合わせてください。

② 受験票の保管

「大学入学共通テストの受験票」は入学手続の際に必要となり、また「信州大学の受験票」は入学手続や入試情報開示請求に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

(2) 受験者心得

「受験者心得」では、当日の持ち物、試験当日の集合（入室）時刻、試験場の詳細等、各学部の注意事項をお知らせします。試験日の前日までに、本学のホームページ（入試情報ポータル／インターネット出願 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）から<受験者心得>にアクセスし、印刷・熟読のうえ、**試験当日に必ず持参**してください。

なお、総合型選抜Ⅱは第一次選抜の合格者に郵送でお知らせします。

- (3) 交通機関の事故等により、集合時刻に間に合わない場合は、直ちに大学へ電話連絡してください。これによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。
なお、本学においては、追試験の設定はありません。
- (4) 災害等及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰下げ等の措置を行うことがあります。
- (5) 各学部・学科等が定める個別試験等の教科・科目等を一つでも受験していない場合には欠席者となり、合格者とはなりません。

(6) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできません。また、すでに受験した本学のすべての教科・科目の成績も無効となります。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア インターネット出願登録サイトや出願書類・解答用紙へ故意に虚偽の登録・記入（本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること。

イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。（23ページの「9. 受験上の配慮を必要とする方の事前相談」を参照）

ク 試験時間中に使用を許可されたもの以外の用具を使用して問題を解くこと。

ケ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも次のことをすると不正行為となる場合があります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、使用を許可されたもの以外の用具、教科書、参考書、辞書等の書籍類等をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

6. 合格発表

選抜区分	学部等	合格発表日時
総合型Ⅰ	教育学部	令和6年11月1日（金）14時
	工学部	令和6年12月5日（木）14時
総合型Ⅱ	理学部	第一次選抜合格発表 令和6年10月2日（水）14時 第二次選抜合格発表 令和6年11月6日（水）14時 最終合格発表 令和7年2月12日（水）14時
学校推薦型Ⅰ	教育学部	令和6年12月5日（木）14時
	経法学部	
	工学部	
	農学部	
	繊維学部	
学校推薦型Ⅱ	教育学部	第一次選抜合格発表 令和6年12月5日（木）14時 最終合格発表 令和7年2月12日（水）14時
	経法学部	令和7年2月12日（水）14時
	医学部保健学科	
	繊維学部	

<総合型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ（教育学部を除く。）>

各学部とも、同日中に合格者に対し合格通知書と入学手続書類を、学校推薦型選抜は学校長あてに合否結果文書を発送します。（不合格の方には通知しません。）

また、本学のホームページ（入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）にも合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

<総合型選抜Ⅱ>

(1) 第一次選抜合格発表

① 第一次選抜の合格発表と通知

令和6年10月2日（水）、第一次選抜合格者に「第一次選抜合格通知書」を発送します。（不合格の方には通知しません。）

また、同日14時に本学のホームページ（入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）に合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

② 入学検定料の一部返還

第一次選抜不合格者には、本人の申し出により入学検定料の一部（13,000円）を返還します。

インターネット出願登録サイトのマイページに「入学検定料返還請求書」のURLが表示されますので、入学検定料の返還手続を行ってください。

(2) 第二次選抜合格発表

令和6年11月6日（水）、第二次選抜合格者に「第二次選抜合格通知書」及び「最終選抜に関する連絡事項等」を発送します。（不合格の方には通知しません。）

また、同日14時に本学のホームページ（入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）に合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

(3) 最終合格発表

- ① 第二次選抜合格者について、令和7年度大学入学共通テストの結果を審査した上で、令和7年2月12日(水)、最終合格者に対して「合格通知書」を送送します。(不合格の方には通知しません。) 　また、同日14時に本学のホームページ(入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)に合格者の受験番号を掲載します。 　なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。
- ② 合格者には入学手続に必要な書類を送付しますので、必ず入学手続期間内に手続を行ってください。

<学校推薦型選抜Ⅱ(教育学部)>

(1) 第一次選抜合格発表

令和6年12月5日(木)、第一次選抜合格者に「第一次選抜合格通知書」を送付します。(不合格の方には通知しません。)

また、同日14時に本学のホームページ(入試情報ポータル (https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/))に合格者受験番号を速報掲載します。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

(2) 最終合格発表

第一次選抜合格者について、令和7年度大学入学共通テストの結果を審査した上で、令和7年2月12日(水)、最終合格者に対し「合格通知書」と入学手続書類を、学校長あてに合否結果文書を送付します。(不合格の方には通知しません。)

また、同日14時に本学のホームページ(入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)に合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

7. 入学手続

合格者は、下記の入学手続期間内に「銀行振込」により入学料を納入するとともに、**郵送**により必要な書類を提出してください。

なお、詳細については、合格通知書に同封してお知らせしますので、必ずご覧ください。

(1) 入学手続期間

区分	学部等	手続期間
総合型Ⅰ	教育学部	令和6年11月5日(火)～11月11日(月)
	工学部	令和6年12月6日(金)～12月12日(木)
総合型Ⅱ	理学部	令和7年2月13日(木)～2月19日(水)
学校推薦型Ⅰ	教育学部	令和6年12月6日(金)～12月12日(木)
	経法学部	
	工学部	
	農学部	
学校推薦型Ⅱ	繊維学部	令和7年2月13日(木)～2月19日(水)
	教育学部	
	経法学部	
	医学部保健学科	

※ 締切日17時までに必着とします。

(2) 手続書類提出先

各学部入試事務室

(15 ページの「(1) 提出先及び出願期間」と同じです。)

(3) 納付金の納入等

- ① 初年度納付金（入学料・授業料）の額
入学料 282,000 円
授業料（前期・後期） 各 267,900 円〔年額 535,800 円〕
※ 金額は令和 6 年 4 月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。
- ② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
- ③ 入学料・授業料の納入が困難な方には、経済支援の制度を設けています。詳細は本学の学生総合支援センターホームページ (https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/) を確認してください。申請方法については合格通知書に同封される「信州大学入学手続（入学料・授業料の納付等について）」を参照してください。

(4) 手続に当たっての注意事項

- ① 入学手続書類を受領したら、速やかに入学手続を行ってください。それぞれ定められた入学手続締切日までに入学手続を完了しない場合は、本学へ入学する権利を失います。（次項による「入学の辞退」とはみなしません。）
- ② 学校推薦型選抜においては、入学手続後に特別な事情により入学辞退を希望する方は、「入学辞退願（本学所定の様式）」を、学校長を経て、令和 7 年 2 月 19 日（水）までに 15 ページの提出先に提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。
なお、許可を受けていない場合は、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜合格者とはなりません。
また、上記の入学権利喪失及び入学辞退により入学しなかった場合、その事情によっては、翌年度以降当該学校長からの推薦を受理しないことがあります。
- ③ 総合型選抜においては、入学手続後に特別な事情により入学辞退を希望する方は、「入学辞退届（本学所定の様式）」を、令和 7 年 2 月 19 日（水）までに 15 ページの提出先に提出しなければなりません。
なお、この手続をしていない場合は、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜合格者とはなりません。
- ④ 入学手続完了者であっても令和 7 年 3 月 31 日までに入学資格を満たすことができない方は、入学を許可しません。

8. 一般選抜への出願

総合型選抜及び学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜の前期日程及び後期日程並びに公立大学の中期日程に出願することができます。

なお、本学への出願を希望する方は、大学入学共通テストの所定の教科・科目を受け、「信州大学令和 7 年度学生募集要項（一般選抜）」（本年 11 月公表予定）に従って出願手続を行い、本学の各学部で実施する個別試験等を受験してください。

9. 受験上の配慮を必要とする方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害、病弱等）のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方への事前相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願を検討している段階のなるべく早い時期に、以下の連絡先へ事前相談の上、提出期限までに書類を提出してください。

事前相談のあったものについて、本学で審査の上、それぞれの障害等の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定し通知します。また、必要に応じ志願者等との面談等を行うこともあります。

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(1) 提出期限：出願受付開始日の1ヵ月前まで

※ 提出期限後に不慮の事故等により合理的配慮が必要となった場合には、速やかに申請してください。提出期限後の申請については、受験上の配慮が講じられない場合がありますので、本学の受験を検討されている場合には、なるべく早く申請してください。

(2) 提出書類

① 事前相談申込書

本学のホームページ（入試情報ポータル／受験上の配慮を必要とする方の事前相談 http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）からダウンロード

② 医師の診断書や障害者手帳の写し

③ 大学入学共通テストに出願し受験上の配慮申請をした方は「受験上の配慮事項審査結果通知書」等の写し

（大学入試センターから提出期限までに届いていない場合は、届き次第、提出してください。）

(3) 提出先・連絡先

信州大学学務部入試課 〒390-8621 松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2195
電子メール：ac_boshu@gm.shinshu-u.ac.jp

10. 個人情報の利用について

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 修学指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

11. 入試情報の開示

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数等

開示方法：本学のホームページ

（入試情報ポータル／過去の選抜状況 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）

開示時期：令和7年4月以降

(2) 合格者最高点・最低点及び合格者の平均点等

開示するのは、合格者が10名以上の学科・コースです。

※ 経法学部の学校推薦型Iは非開示です。

開示方法：本学のホームページ

（入試情報ポータル／過去の選抜状況 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）

開示時期：令和7年4月以降

(3) 個人情報

試験成績

選抜区分	学部等	試験成績開示情報
総合型 I	教育学部	判定ランク
	工学部	総合点、判定ランク
総合型 II	理学部	総合点（大学入学共通テストの得点を含む）
学校推薦型 I	教育学部	判定ランク
	経法学部	面接結果
	工学部	総合点、判定ランク
	農学部	総合点、判定ランク
	繊維学部	総合点、判定ランク
学校推薦型 II	教育学部	大学入学共通テストの得点及び判定ランク
	経法学部	大学入学共通テストの得点及び出願書類の得点
	医学部保健学科	大学入学共通テストの得点及び判定ランク
	繊維学部	大学入学共通テストの得点及び判定ランク

開示方法：受験者本人からの開示請求により、個別に開示（郵送）します。

請求方法：本学のホームページを確認してください。（入試情報ポータル／入試成績等の開示 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）

受付期間：令和7年5月7日（水）～5月30日（金）（消印有効）

開示時期：令和7年7月以降、受験者本人宛に発送します。

12. その他

- ① この学生募集要項について不明な点がある場合は、各学部入試事務室（最終ページ参照）までお問い合わせください。
- ② 各学部に関する各種情報については、本学のホームページ（信州大学／学部・大学院 <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/>）から該当学部のホームページをご覧ください。

13. インターネット出願について

インターネット出願登録サイトでは、出願登録のほか、出願確認票、受験票等の印刷なども行います。登録後にマイページにアクセスする必要がありますので、登録したメールアドレスとパスワードを記録しておいてください。

（入試情報ポータル／インターネット出願 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）

インターネット出願の流れは次のとおりです。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。学生募集要項を本学ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んでうえで出願登録を行ってください。出願書類等※は、発行までに時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類等…調査書、顔写真データ、大学入学共通テスト成績請求票など、選抜によって異なります。詳細は学生募集要項を参照してください。



STEP

2



インターネット出願登録サイトにアクセス

インターネット
出願登録サイト

▶ <https://e-apply.jp/ds/shinshu-u/>

または、

大学ホームページ
(入試情報ポータル)

▶ https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
「マイページへ」をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

※「大学入学共通テストの受験教科・科目」は新課程履修者と旧課程履修者では選択できる科目が異なります。学生募集要項を確認してください。



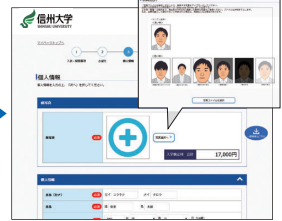
①マイページログイン後の
「出願手続きを行う」ボタン
から登録画面へ



②入試選択



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



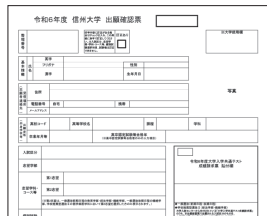
⑥出願内容の確認
「出願確認票宛名シート(サンプル)」ボタンを
クリックすると出願確認票が確認できます。



⑦申込登録完了
「引き続き支払う」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願確認票PDF
(イメージ)
※検定料支払後に出力可能となります。

入学検定料の支払方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。入学検定料支払い後に(ただし出願書類等の提出前に限る)、入試区分、志望学部・学科・コース等、個別試験選択科目、試験場を修正する場合は、新規でSTEP4以降の手続きを行ってください。誤って登録したものについては、入学検定料返還が可能です(詳細は学生募集要項参照)。

それ以外の項目を修正する場合は、STEP6で印刷した出願確認票の「訂正あり」にチェックを入れたうえで、用紙に赤字で訂正記入してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

※支払期限は、申込日を含め4日間です。(締切が4日より短い場合、締切が優先されます)

※入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、

FamilyMart



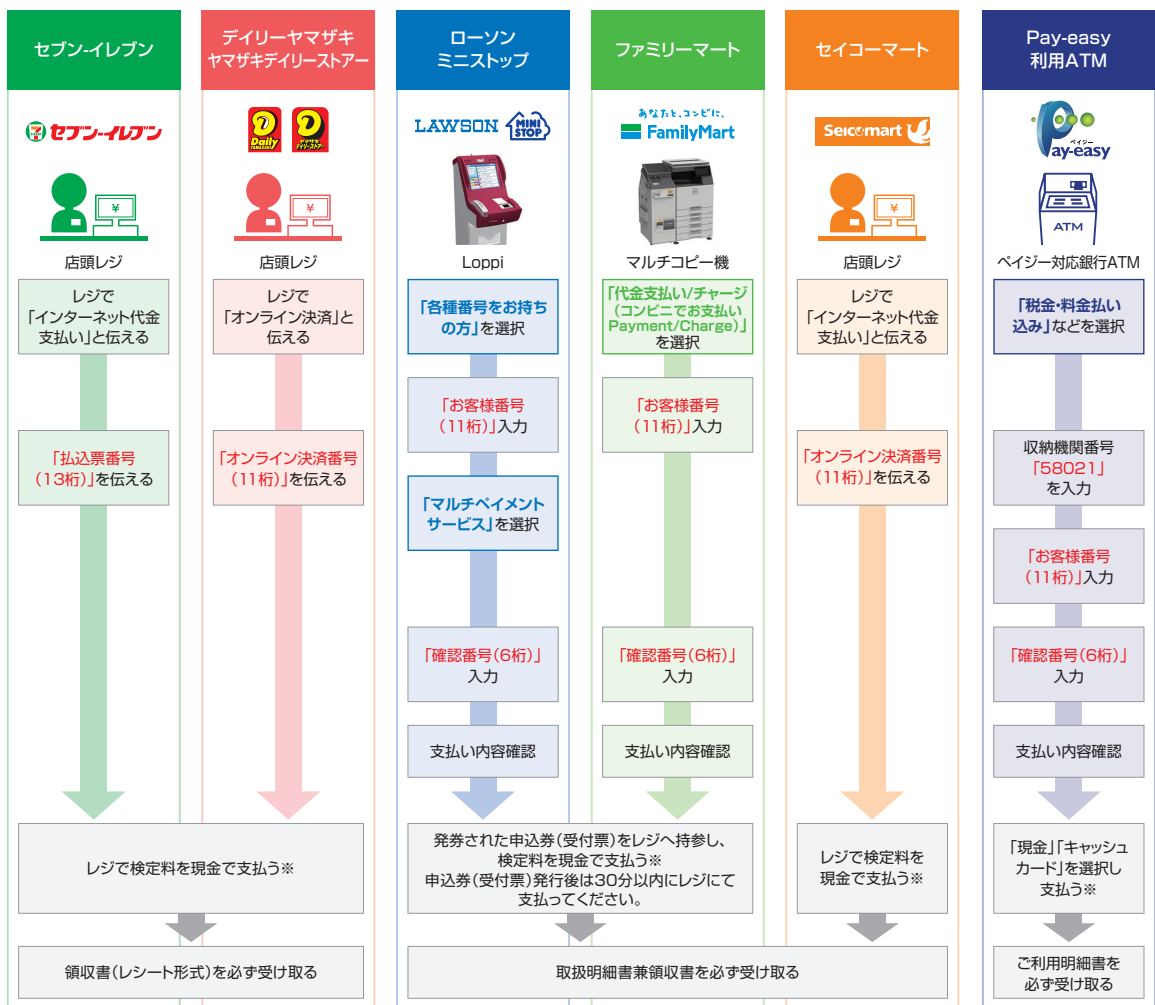
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。
*画面ボタンのデザインや支払い手順などは予告なく変更となる場合があります。

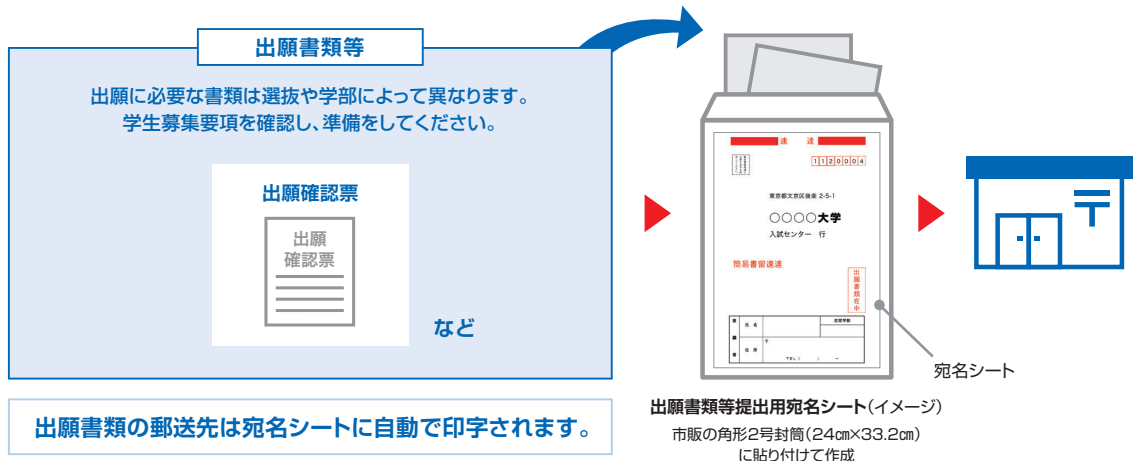
STEP

6

出願書類等の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後に出願確認票、宛名シートを印刷し、その他の出願書類等と併せて出願期間内に郵送してください。



「出願確認票・宛名シート」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「出願確認票・宛名シート(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「出願確認票・宛名シート(印刷)」のボタンがクリックできるようになり出願確認票の出力ができます。

※一旦受理した検定料・出願書類は、学生募集要項で明記している理由によるものを除きお返しできません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類等を郵送して完了となります。登録が完了しても出願期間内に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

出願期間は学生募集要項をご確認ください。なお、インターネット出願は24時間可能です。

STEP

7

受験票の印刷

受験番号確定後にインターネット出願登録サイトのマイページからダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定のお知らせメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。
印刷した受験票は、試験当日に必ず持参してください(※郵送はしません)。

【印刷に関する注意事項】

受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。(白黒印刷可)
印刷用紙はA4サイズ縦の両面無地の白の用紙を使用してください。



お問い合わせ

インターネット出願登録サイト及び操作に関するお問い合わせ

■「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター(運用会社:株式会社キャリアス)

TEL:0120-202079(出願期間は24時間対応)

Ⅲ 学部別の項目（出願資格・出願要件、選抜方法及び期日等）

1. 各選抜に共通する事項

(1) 教科・科目名等の表記について

33 ページ以降の実施教科・科目等の表中の教科・科目名等は、次のように略しています。

▽大学入学共通テスト

教科名		科目名	
名称	略称	名称	略称
国語	国	国語	国
地理歴史 公民	地歴 公民	地理総合、地理探究	地地 → (b)
		歴史総合、日本史探究	歴日 → (b)
		歴史総合、世界史探究	歴世 → (b)
		地理総合/歴史総合/公共	地歴公 → (a)
		公共、倫理	公倫 → (b)
		公共、政治・経済	公政 → (b)
		旧世界史 A	◎旧世 A
		旧世界史 B	◎旧世 B
		旧日本史 A	◎旧日 A
		旧日本史 B	◎旧日 B
		旧地理 A	◎旧地 A
		旧地理 B	◎旧地 B
		旧現代社会	◎旧現社
		旧倫理	◎旧倫
旧政治・経済	◎旧政		
旧倫理、旧政治・経済	◎旧倫政		
数学	数	数学 I	数 I
		数学 I、数学 A	数 I A
		数学 II、数学 B、数学 C	数 II BC
		旧数学 I	◎旧数 I
		旧数学 I・旧数学 A	◎旧数 I A
		旧数学 II	◎旧数 II
		旧数学 II・旧数学 B	◎旧数 II B
		旧簿記・会計	◎旧簿
旧情報関係基礎	◎旧情関		
理科	理	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎	基礎
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地学
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓
情報	情	情報 I	情
		旧情報	◎旧情報

(注) 大学入学共通テストにおける地理歴史及び公民の科目選択方法

- ① (a) の『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する。
- ② 2科目を選択する場合、以下の組合せを選択することはできない。
 - (b) のうちから2科目を選択する場合
『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。
 - (b) のうちから1科目及び (a) を選択する場合
(b) については、(a) で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない。選択可能な組合せは以下のとおり。
 - ・(b) のうちから『地理総合、地理探究』を選択する場合、(a) では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・(b) のうちから『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、(a) では「地理総合」及び「公共」の組合せ
 - ・(b) のうちから『公共、倫理』又は『公共、政治・経済』を選択する場合、(a) では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

[参考] 地理歴史及び公民において、(b) のうちから 1 科目及び (a) を選択する場合に選択可能な組合せ

○：選択可能 ×：選択不可

		(a)		
		「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
(b)	『地理総合、地理探究』	×	×	○
	『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
	『公共、倫理』	○	×	×
	『公共、政治・経済』	○	×	×

- ③ 旧教育課程による出題科目から 2 科目を選択する場合、同一名称を含む科目の組合せで選択することはできない。（「同一名称を含む科目の組合せ」とは『◎旧世界史 A』と『◎旧世界史 B』、『◎旧日本史 A』と『◎旧日本史 B』、『◎旧地理 A』と『◎旧地理 B』、『◎旧倫理』と『◎旧倫理、旧政治・経済』、『◎旧政治・経済』と『◎旧倫理、旧政治・経済』の組合せをいう。）
また、新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を組み合わせで選択することはできない。

(2) 「学力の 3 要素」の表記について

33 ページ以降の実施教科・科目等の表中において、学力の 3 要素の表記は、次のとおり略しています。

名称	略称
知識・技能	知
思考力・判断力・表現力	思
主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度	主

(3) 大学入学共通テストの「外国語（英語）」について

「外国語（英語）」を選択する受験者には「リーディング」及び「リスニング」を全員に課します。

外国語（英語）の点数は下記の手順に従い計算し合否判定に利用します。

「リーディング」（100 点満点）と「リスニング」（100 点満点）の得点をリーディング得点とリスニング得点の比率を 4：1 として 200 点満点に換算し、外国語の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、リスニングを免除された方については、リーディングの得点を 200 点満点に換算して利用します。

(4) 大学入学共通テストの「地理歴史・公民」及び「理科」について

「地理歴史・公民」及び「理科」において 1 科目が課されている場合、2 科目受験者については第 1 解答科目の成績を利用します。

第 1 解答科目が学部・学科等の指定した利用教科・科目でない場合は、出願資格を無資格としますので、注意してください。

(5) 大学入学共通テストの数学「旧簿記・会計」及び「旧情報関係基礎」について

「旧簿記・会計」及び「旧情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(6) 出題範囲について

個別試験等で課す各科目のうち特に出題範囲を指定していない科目については、すべてを出題範囲とします。

(7) 過去問題の使用

- ① 本学及び各学部の「入学者受入れの方針」に沿った選抜を実現するため、必要な範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学等の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- ② 入試過去問題を使用して出題する際は、そのまま使用することもありますし、一部を改変することもあります。
- ③ 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次の URL をご覧ください。
(入試過去問題活用宣言ホームページ <https://www.nyushikakomon.jp/>)

(8) 旧教育課程履修者等に対する経過措置について

① 「新教育課程履修者」は、次のア又はイに該当する方とします。

ア 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの方

イ 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの方

「旧教育課程履修者等」は、上記ア及びイ以外の方とします。

* 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

② 大学入学共通テストの◎印の科目は経過措置の科目で、旧教育課程履修者等のみ選択解答することができます。

③ 個別試験等については、各教科・科目とも特別な経過措置は実施しませんが、旧教育課程履修者等が不利にならないように出題します。

2. 教育学部 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>)

【総合型選抜Ⅰ】

(1) 出願資格及び出願要件

次の各号全てに該当する方とします。

- ① 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 高等学校における全体の学習成績の状況が3.5以上の方
- ③ 合格した場合は本学への入学が確約できる方
- ④ 入学後に学内外での教育活動に積極的に参画できる方
- ⑤ 卒業後に長野県内において教職に就くことを強く希望する方
- ⑥ 次のいずれかに興味を持ち積極的に取り組める方
 - a 中山間地や小規模校において行われる教育活動の学修
 - b 小規模校、複式学級等でICT機器等を活用した教育活動の学修
 - c 特別な支援が必要な児童生徒や外国籍児童生徒と係わる教育活動の学修

(2) 募集人員

課程	コース	募集人員
学校教育教員養成課程	現代教育コース	5
	国語教育コース	3
	ものづくり・技術教育コース	2
	特別支援教育コース	4
	心理支援教育コース	2
計		16

(3) 選考方法

大学入学共通テストは課さず、以下の個別試験等により選考を行います。

【選考方法】					学力の3要素		
課程	コース	教科等	科目等	配点	知	思	主
学校教育教員養成課程	現代教育コース 国語教育コース ものづくり・技術教育コース 特別支援教育コース 心理支援教育コース	その他	面接（プレゼンテーション、口頭試問を含む）	300	○	○	○
			調査書及びその他出願書類（面接の参考資料として活用）				

【面接（プレゼンテーション、口頭試問を含む）の内容】

集団面接及び個別面接を実施します。詳細は本学部ホームページ「お知らせ」に掲載します（7月中旬頃（予定））。

(4) 採点・評価基準

- ① 面接
学校教員となる意欲・適性を評価します。
- ② 調査書及びその他出願書類
調査書及びその他出願書類は、面接の参考資料として活用します。

(5) 合否判定基準

面接（調査書及びその他出願書類は面接の参考資料として活用します。）の結果により判定します。ただし、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

(6) 選抜期日及び時間

期 日	試 験 科 目
	面 接
令和6年9月20日（金）	9：00～

※ 受験の際は、受験票及び筆記用具を必ず持参してください。

※ 面接は、受験者数によって終了時刻が17時以降となることがあります。

【学校推薦型選抜Ⅰ】

(1) 出願資格及び推薦要件

次の①又は②に該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

ただし、各学校長が推薦できる人数は、①に該当する方について1人としますが、②に該当する方を推薦する場合には、推薦できる人数に制限はありません。

- ① 次の各号全てに該当する方
 - a 長野県外にある高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
 - b 高等学校における全体の学習成績の状況が4.0以上の方
 - c 教員になるための明確な志望と意欲を有し、その資質・能力を備えている方
- ② 次の各号全てに該当する方
 - a 長野県内にある高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
 - b 高等学校における全体の学習成績の状況が4.0以上の方
 - c 教員になるための明確な志望と意欲を有し、その資質・能力を備えている方

(2) 募集人員

課程	コース	募集人員
学校教育教員養成課程	図画工作・美術教育コース	3

(3) 選考方法

大学入学共通テストは課さず、以下の個別試験等により選考を行います。

〔選考方法〕				学力の3要素		
	教科等	科目等	配点	知	思	主
個別試験等	その他	実技検査(美術)	50	○	○	○
		面接(口頭試問を含む)	50	○	○	○
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)				
	合計		100			

① 実技検査

鉛筆デッサンを行います。

持ち物：鉛筆デッサン用具一式

画板、用紙、イーゼルを持参する必要はありません。

② 面接

個別面接を行います。

(4) 採点・評価基準

① 実技検査

鉛筆デッサン（図画工作・美術教育コース）は、美術に関する技能及び表現力を評価します。

② 面接

面接は、図画工作・美術教育コースの学生としての意欲・適性を評価します。

③ 調査書及びその他出願書類（面接の参考資料として活用）

(5) 合否判定基準

実技検査及び面接（調査書及びその他出願書類は面接の参考資料として活用します。）の結果を総合して判定します。また、実技検査及び面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

(6) 選抜期日及び時間

期 日	試 験 科 目	
	実技検査	面 接
令和6年11月23日(土)	10:00~11:30	13:00~

- ※ 受験の際は、受験票及び筆記用具を必ず持参してください。
- ※ 面接は、受験者数によって終了時刻が17時以降となることがあります。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

(1) 出願資格及び推薦要件

次の①又は②に該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、令和7年度大学入学共通テストを受験し、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

ただし、各学校長が推薦できる人数は、①に該当する方について、学校推薦型選抜Ⅱを実施する各コースにそれぞれ1人、合計11人以内としますが、②に該当する方を推薦する場合には、推薦できる人数に制限はありません。

- ① 次の各号全てに該当する方
 - a 長野県外にある高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
 - b 教員になるための明確な志望と意欲を有し、その資質・能力を備えている方
- ② 次の各号全てに該当する方
 - a 長野県内にある高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
 - b 教員になるための明確な志望と意欲を有し、その資質・能力を備えている方

(2) 募集人員

課程	コース	募集人員
学校教育教員養成課程	現代教育コース	13
	野外教育コース	4
	国語教育コース	5
	英語教育コース	4
	社会科教育コース	6
	数学教育コース	4
	理科教育コース	4
	音楽教育コース	3
	保健体育コース	3
	特別支援教育コース	3
	心理支援教育コース	2
計		51

(3) 選考方法

大学入学共通テストを課し、以下の方法により選考を行います。

令和7年度大学入学共通テストにおいて、**本学部（コース）が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、学校推薦型選抜Ⅱを受験しても合格者とはなりません。**

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

- ① 第一次選抜：面接試験（口頭試問を含む）や小論文、実技試験により行い、合格者を決定します。
- ② 最終選抜：第一次選抜合格者のうち、原則として、令和7年度大学入学共通テストに対して各コースが定める配点合計の得点率が50%以上の方を最終合格者とします。

※ 調査書及びその他出願書類は面接の参考資料として活用します。

※ 面接（口頭試問を含む）は、全コースを対象とし、個別面接、集団面接、あるいはその両方を行います。

《現代教育コース》

〔 選考方法 〕					学力の3要素		
教科	科目		受験を要する科目等	配点	知	思	主
大学入学共通テスト	国	国		左の科目	200	○	○
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政		左の16科目から1科目選択	100		
	公民						
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA		左の4科目から1科目選択	100		
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB		左の3科目から1科目選択	100		
	理	基礎、物、化、生、地学		左の5科目から1科目選択	100		
	外	英		左の科目	200		
	情	情、◎旧情		左の2科目から1科目選択	100		
配点合計				900 ※1			
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	面接(口頭試問を含む)		300	○	○	○
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)					
合計				300			

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 原則として、配点合計(900点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

《野外教育コース》

〔 選考方法 〕					学力の3要素		
教科	科目		受験を要する科目等	配点	知	思	主
大学入学共通テスト	国	国		左の科目	200	○	○
	数	①	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100		
		②	数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択			
		③	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択			
	理			①②③から1つ選択 ※1			
	外	英		左の科目	200		
	情	情、◎旧情		左の2科目から1科目選択	50		
配点合計				550 ※2			
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	実技(課題解決能力検査)		50	○	○	○
		面接(口頭試問を含む)		50	○	○	○
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)					
合計				100			
合計				100			

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 ①、②、③から2つ以上受験した方については、最も高い科目の成績を利用します。

※2 原則として、配点合計(550点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

【実技検査内容】

課題解決能力検査(内容は当日指示)を行います。

「課題解決能力検査」は、イニシアティブゲームあるいはASE(Action Socialization Experience)を指し、グループで課題に取り組みます。

運動に適した服装・体育館用シューズ・健康保険証を持参してください。

実技検査を課するため、不慮の事故に備えて傷害保険に加入されることをお勧めします。

《国語教育コース》

〔 選考方法 〕					学力の3要素		
教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の16科目から1科目選択	100			
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50			
配点合計			850 ※1				
個別試験等	教科等	科目等	配点	知	思	主	
個別試験等	その他	小論文	150	○	○	○	
		面接(口頭試問を含む)					
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)					
合計			150				

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 原則として、配点合計(850点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

《英語教育コース》

〔 選考方法 〕					学力の3要素		
教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の16科目から1科目選択	100			
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50			
配点合計			850 ※1				
個別試験等	教科等	科目等	配点	知	思	主	
個別試験等	その他	面接(口頭試問を含む) ※2	300	○	○	○	
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)					
合計			300				

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 原則として、配点合計(850点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

【個別試験等】欄

※2 英語による口頭試問を含みます。

《社会科教育コース》

〔 選考方法 〕					学力の3要素		
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主
	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の15科目から1科目選択	100			
	公民						
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50			
配点合計				850 ※1			
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	面接(口頭試問を含む)		300	○	○	○
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)					
合計				300			

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 原則として、配点合計(850点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

《数学教育コース》

〔 選考方法 〕					学力の3要素		
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主
	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の16科目から1科目選択	100			
	公民						
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	100			
配点合計				900 ※1			
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	面接(口頭試問を含む)		300	○	○	○
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)					
合計				300			

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 原則として、配点合計(900点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

《理科教育コース》

【選考方法】					学力の3要素		
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主
	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の16科目から1科目選択	100			
	公民						
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	100			
配点合計				900 ※1			
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	面接(口頭試問を含む)		300	○	○	○
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)					
合計				300			

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 原則として、配点合計(900点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

《音楽教育コース》

【選考方法】					学力の3要素			
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
	国	国	左の科目	200	○	○		
	数	①	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択				100
		②	数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択				
		③	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択				
	理							
	外	英	左の科目	200				
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50				
配点合計				550 ※2				
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主	
	その他	実技(音楽)		150	○	○	○	
		面接(口頭試問を含む)※3		150	○	○	○	
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)						
合計				300				
合計				300				

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 ①、②、③から2つ以上を受験した方については、最も得点の高い科目の成績を利用します。

※2 原則として、配点合計(550点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

【個別試験等】欄

※3 楽典に関する口頭試問を含みます。

【実技検査内容】

以下の①、②、③の検査全てを受験してください。
 全ての演奏曲目は暗譜でも楽譜を見ながらでも構いません。

①声楽 下記4曲の中からいずれかの1曲を選び、無伴奏で歌ってください。

- Giordani, T. Caro mio ben
- Scarlatti, A. Sento nel core
- 成田為三 浜辺の歌 (第1節、第2節のみ)
- 山田耕筰 赤とんぼ (第1節、第2節のみ)

②ピアノ 下記4曲の中からいずれかの1曲を選び、ピアノ伴奏部分を弾いてください。

- Giordani, T. Caro mio ben
- Scarlatti, A. Sento nel core
- 成田為三 浜辺の歌 (第1節、第2節のみ)
- 山田耕筰 赤とんぼ (第1節、第2節のみ)

*①と②は同一の曲でも異なる曲でも可能です。試験時に演奏する曲名と作曲者名を口頭で伝えてください。
 *②ピアノ伴奏譜の版の選択は任意とします。オリジナル版でも簡易版でも構いません。

③器楽

任意の楽器による自由曲を1曲演奏してください(繰り返しは省略)。
 *「音楽実技検査自由曲 曲目届」に作曲者、曲名、演奏する楽器名を記入して提出してください。
 *受験可能な楽器の種類はピアノ、管楽器、弦楽器、打楽器、和楽器などとなります。
 *伴奏のある楽曲の場合、無伴奏で演奏してください。
 *ピアノ以外の楽器は持参できる楽器とし、当日持参してください。

《保健体育コース》

【選考方法】					学力の3要素		
教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の16科目から1科目選択	100			
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50			
	配点合計			850 ※1			
個別試験等	教科等	科目等	配点	知	思	主	
	その他	小論文	50	○	○	○	
		面接(口頭試問を含む)	50	○	○	○	
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)					
合計			100				
合計			100				

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。
 ※1 原則として、配点合計(850点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

《特別支援教育コース》

【選考方法】					学力の3要素		
教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の16科目から1科目選択	100			
	公民						
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50			
配点合計			850 ※1				
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	面接(口頭試問を含む)		300	○	○	○
調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)							
合計				300			

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 原則として、配点合計(850点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

《心理支援教育コース》

【選考方法】					学力の3要素		
教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の16科目から1科目選択	100			
	公民						
	数	数Ⅰ、数ⅠA、◎旧数Ⅰ、◎旧数ⅠA	左の4科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB	左の3科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	100			
配点合計			900 ※1				
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	面接(口頭試問を含む)		300	○	○	○
調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)							
合計				300			

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 原則として、配点合計(900点)の50%未満の方は合格の対象となりません。

(4) 採点・評価基準

大学入学共通テスト及び個別試験等の成績を得点化して評価します。

① 面接

面接（全コース）は、志望した各コースの学生としての意欲・適性を評価します。

② 調査書及びその他出願書類

調査書及びその他出願書類（全コース）は、面接の参考資料として活用します。

③ 小論文

小論文（国語教育コース、保健体育コース）は、与えられた課題を的確に認識する能力、論理的に思考する能力、表現能力等を評価します。

④ 実技検査

課題解決能力検査（野外教育コース）は、野外教育における課題解決能力を評価します。

声楽・器楽（音楽教育コース）は、音楽に関する技能及び表現力を評価します。

(5) 合否判定基準

コース	合否判定基準
現代教育コース 英語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 特別支援教育コース 心理支援教育コース	(1) 第一次選抜：面接（調査書及びその他出願書類は面接の参考資料として活用します。）の成績により判定します。ただし、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。 (2) 最終選抜：第一次選抜合格者のうち、原則として、令和7年度大学入学共通テストに対して各コースが定める配点合計の得点率が50%以上の方を最終合格者とします。
野外教育コース 音楽教育コース	(1) 第一次選抜：実技検査及び面接（調査書及びその他出願書類は面接の参考資料として活用します。）の成績により判定します。ただし、実技検査及び面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。 (2) 最終選抜：第一次選抜合格者のうち、原則として、令和7年度大学入学共通テストに対して各コースが定める配点合計の得点率が50%以上の方を最終合格者とします。
国語教育コース 保健体育コース	(1) 第一次選抜：小論文及び面接（調査書及びその他出願書類は面接の参考資料として活用します。）の成績により判定します。ただし、小論文及び面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。 (2) 最終選抜：第一次選抜合格者のうち、原則として、令和7年度大学入学共通テストに対して各コースが定める配点合計の得点率が50%以上の方を最終合格者とします。

(6) 選抜期日及び時間

期 日	課 程	コ ー ス	試 験 科 目		
			小 論 文	実 技 検 査	面 接
令和6年 11月23日(土)	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	現代教育コース	—	—	10:00～
		野外教育コース	—	9:00～12:00	13:00～
		国語教育コース	10:00～11:30	—	13:00～
		英語教育コース	—	—	10:00～
		社会科教育コース	—	—	13:00～
		数学教育コース	—	—	13:00～
		理科教育コース	—	—	13:00～
		音楽教育コース	—	9:00～12:00	13:00～
		保健体育コース	10:00～11:30	—	13:00～
		特別支援教育コース	—	—	13:00～
心理支援教育コース	—	—	13:00～		

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

※ 面接は、受験者数によって終了時刻が17時以降となることがあります。

※ 面接のみのコースの志願者も、筆記用具を持参してください。

※ 音楽教育コースの面接については、実技検査終了後、午前中に実施する場合があります。

3. 経法学部 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/econlaw/>)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

(1) 出願資格

高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方で、下記の推薦要件を満たすものと学校長が責任を持って推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部に推薦できる人数に制限はありません。

(2) 推薦要件

大学での経済学（応用経済学科）又は法律学（総合法律学科）の勉学を前提とした明確な将来志望を持ち、例えば、企業組織等のリーダーとして活躍すること、行政組織の中で公共政策の立案運営にたずさわること、また、こうした分野で国際的に活躍することなどを旨とする方で、本学部に修学するのに必要な基礎学力と積極的な勉学姿勢を有し、かつ次の（a）～（f）の一つ以上に該当する方

- (a) 学業成績が優秀な方（全体の学習成績の状況が4.0以上）
- (b) スポーツの全国レベル等の競技会に出場し、優秀な成績をおさめた方 ※1 ※2
- (c) 芸術・文化の分野の全国レベルの発表会に出場し、優秀な成績をおさめた方 ※1 ※2
- (d) ① 実用英語技能検定準1級以上又はその他の外国語の検定試験等でこれと同等の成績（例えば、TOEFL-iBT 79点以上、TOEIC L&R 730点以上、GTEC 930点以上など）
② 日商簿記検定1級又は全経簿記能力検定上級
③ 応用情報技術者（ソフトウェア開発技術者）以上
④ 学業に関係の深いその他の資格・検定における上記と同等の成績
- (e) 継続した社会活動での顕著で具体的な実績があり、そのことで広く社会から高い評価を得ている方 ※1 ※3
- (f) その他上記に準ずるような実績や経験を有する方 ※1 ※4

- 推薦要件（b）～（f）に該当する場合は、実績証明書類（所定様式・要ダウンロード）を提出すること。

※1 団体での競技・発表・活動の場合は、その中でどのような貢献をしたかを明記すること。

※2 当該競技・活動が、高校生の行うスポーツ・活動としてどの程度定着したものであるかも判定の材料とする。

※3 当該社会活動に責任を持つ代表者等の推薦書又は報道等から、その活動が広く社会から高い評価を得ていることが確認できること。

※4 当該実績・経験に責任を持つ代表者等の推薦書又は報道等から、その活動が広く社会から高い評価を得ていることが確認できること。

- 推薦要件（b）～（d）で出願を予定していた方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種のスポーツ・文化関係の行事、大会や資格・検定試験が中止、延期又は規模縮小したことに伴い該当する実績を収めることはできなかったが、成果獲得に向け努力していた場合は、推薦要件（f）で出願することが可能です。

該当する方は、出願までに最も評価の高い実績証明書類を「実績証明書等添付用紙」（18ページ出願書類等を参照）に添付してください。

また、成果獲得に向け行ってきた努力や活動は「自己申告書」（18ページ出願書類等を参照）の⑤の欄に記入してください。

(3) 募集人員

学科	募集人員
応用経済学科	20
総合法律学科	10
計	30

(4) 選考方法

大学入学共通テストは課さず、以下の個別試験等により選考を行います。

『選考方法』				学力の3要素		
学科	教科等	科目等	配点	知	思	主
応用経済学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		推薦書、自己申告書、調査書(面接の参考資料として活用)				
総合法律学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		推薦書、自己申告書、調査書(面接の参考資料として活用)				

※ 面接は、複数の本学部教員により志願者1人につき30分間程度行います。なお、面接には、手元に何も携えない状態で臨んでください。

(5) 採点・評価基準

面接は、志願者の大学での学習に必要な基礎学力の有無を判断し、社会科学に対する適性や能力及び入学の熱意、その他を加味して評価します。

推薦書、自己申告書、調査書については、面接の参考資料として活用します。

(6) 合否判定基準

面接(推薦書、自己申告書、調査書は面接の参考資料として活用します。)の結果により判定します。

(7) 選抜期日及び時間

期 日	学科	試 験 科 目
		面接
令和6年11月30日(土)	全学科	日時別途通知

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

※ 各受験者の面接日時は、本学のホームページから〈受験者心得〉にアクセスし、経法学部の注意事項を確認してください。(入試情報ポータル/インターネット出願 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)

※ なお、受験番号と面接日・時間は関係ありません。受験番号が早くても面接順が早いとは限りませんので注意してください。

(8) その他

学校推薦型選抜Iで合格した方に対しては、高校までの基礎学力を確認し、入学後円滑に本学部での勉学に移行できるよう、入学前課題を課しています。詳細については、合格発表後にお知らせします。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

(1) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、令和7年度大学入学共通テストを受験し、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 人物が優れ、かつ、志望学科に対して強い関心と学習意欲を持つ方

また、信州大学経法学部の学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった方は、同一学科を志望する場合に限り、信州大学経法学部の学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

(2) 募集人員

学科	募集人員
応用経済学科	20
総合法律学科	10
計	30

(3) 選考方法

令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部（学科）が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、学校推薦型選抜Ⅱを受験しても合格者とはなりません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

《応用経済学科、総合法律学科》

〔選考方法〕					学力の3要素		
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主
	国	国	左の科目	200	○	○	
	数	数ⅠA、◎旧数ⅠA	左の2科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数Ⅱ、◎旧数ⅡB、◎旧簿、◎旧情関	左の5科目から1科目選択	100			
	地歴	地地、歴日、歴世、公倫、公政、◎旧世B、◎旧日B、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政、物、化、生、地学	左の16科目から2科目選択 ※「公民」から2科目選択不可 ※1	200			
	公民						
	理						
	外	英	左の科目	200			
情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	100				
配点合計				900			
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	推薦書、調査書、志望理由書		200	○	○	○
合計				1100			

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 「地理歴史」「公民」及び「理科」から3科目受験した方については、次の①又は②のうち、いずれか高い成績を利用します。

- ① 「地理歴史」「公民」又は「理科」のうち2科目受験した教科の合計得点
- ② 「地理歴史」「公民」又は「理科」のうち2科目受験した教科の第1解答科目と1科目受験した教科の合計得点

また、「地理歴史」「公民」及び「理科」から4科目受験した方については、次の③～⑤のうち、最も高い成績を利用します。

- ③ 「地理歴史」「公民」2科目の合計得点
- ④ 「地理歴史」「公民」の第1解答科目と「理科」の第1解答科目の合計得点
- ⑤ 「理科」2科目の合計得点

※1の図解

「地理歴史」「公民」及び「理科」から3科目受験した方

「地理歴史」「公民」 又は 「理科」	2科目受験	第1解答科目	第2解答科目
		得点A	得点B
「地理歴史」「公民」 又は 「理科」	1科目受験	得点C	

- ①又は②のうちいずれか高い成績
 ①=得点A+得点B
 ②=得点A+得点C

「地理歴史」「公民」及び「理科」から4科目受験した方

「地理歴史」「公民」	2科目受験	第1解答科目	第2解答科目
		得点A	得点B
「理科」	2科目受験	第1解答科目	第2解答科目
		得点C	得点D

- ③～⑤のうち最も高い成績
 ③=得点A+得点B
 ④=得点A+得点C
 ⑤=得点C+得点D

(4) 採点・評価基準

大学入学共通テストの成績及び出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）を得点化して評価します。

(5) 合否判定基準

大学入学共通テストの成績及び出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）を得点化して判定します。

4. 理学部 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/>)

【総合型選抜Ⅱ】

(1) 出願資格及び出願要件

次の各号全てに該当する方とします。

- ① 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 本コースの教育目標に合致する勉学意欲をもち、かつ幅広い基礎学力を有し、本学において地球学を勉学する強い意志をもつ方
- ③ 高等学校において「地学基礎」、「地学」などの地学分野を履修した方、又は高等学校の課外活動などを通じて、地学に関する内容を学習した方
 - ※ 地学分野を履修したこと、又は地学に関する内容を学習したことについて、調査書あるいは別紙（様式指定なし）に、その旨教員が記載したものを添付してください。
 - ※ 具体例は、理学部ホームページ「地球学コース総合型選抜に関してよくある質問 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/admission/admission-faq.html>)」を参照してください。
- ④ 令和7年度大学入学共通テストを受験する方
- ⑤ 国公立大学の他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願しない方
- ⑥ 合格した場合、入学を確約できる方

(2) 募集人員

学 科・コース	募集人員
理学科 地球学コース	4

(3) 選考方法・合否判定基準

選抜は、第一次選抜と第二次選抜に分けて行い、「大学入学共通テスト」を課します。

- ① 第一次選抜：書類審査（調査書及び自己推薦書・志望理由書）により行い、募集人員の4倍程度の合格者を決定します。
- ② 第二次選抜：第一次選抜の合格者に対して行います。面接試験（a. 面接の基本的な資料とするための実地試験、b. 個別の面接）によって選考します。実地試験では自然観察力・実験遂行力・講義理解力を評価します。

個別試験等	教科等	科目等	配点	学力の3要素		
				知	思	主
	その他	調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)	100	○	○	○
		面接の基本的な資料とするための実地試験	300	○	○	○
		面接				
合 計			400			

<評価方法と筆記課題の内容>

- ◎ 午前の実地試験では、野外や室内で、地層・岩石・化石などの観察や簡単な実験を行い、その結果についてのレポートを課します。自然観察力や実験の遂行力等を評価する基本的な資料とします。
- ◎ 午後の実地試験では模擬授業等を行い、質疑応答の時間を設けたうえで、内容に関するレポートを課します。この選考では、授業理解力や論理構成力等を評価する基本的な資料とします。
- ◎ これらのレポートの内容に関して、個別面接で質疑応答を行います。
- ◎ 出願書類等の内容、第二次選抜の実地試験結果をふまえた面接に基づいて、最終評価を行います。

<注意>

- ※ 実地試験のうち、野外での観察を行う場合は小雨決行とします。そのため、雨具や野外活動に適した服装・靴を用意してください。荒天時には室内での実地試験のみとします。
- ※ 野外での観察を課すため、不慮の事故に備えて旅行保険などの傷害保険に加入されることを強くお勧めします。
- ※ 実地試験を途中棄権した場合には、その時点までの結果に基づいて評価します。

- ③ 最終選抜：第二次選抜合格者のうち、令和7年度大学入学共通テストの合計得点が460点以上の方を最終合格とします。

令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部（学科）が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、総合型選抜Ⅱを受験しても合格者とはなりません。下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

	教科	科目	受験を要する科目等	配点	学力の3要素		
					知	思	主
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	200	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世A、◎旧世B、◎旧日A、◎旧日B、◎旧地A、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の16科目から1科目選択	100			
	公民						
	数	数ⅠA、◎旧数ⅠA	左の2科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数ⅡB、◎旧簿、◎旧情関	左の4科目から1科目選択	100			
	理	基礎、物、化、生、地学	左の5科目から2科目選択 ※1	200			
	外	英、独、仏、中、韓	左の5科目から1科目選択	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	25			
合 計				925			

【大学入学共通テスト】欄

30ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 「理科」で「基礎」を受験する場合、選択解答する出題範囲と同一名称を含む科目との組合せ（「物理基礎、化学基礎」と「物理」など）は認めません。

(4) 第二次選抜期日及び時間

期日	教科等	時間
令和6年10月19日（土）	受 付	8：30～8：50
	面接の基本的な資料とするための実地試験：自然観察力・実験遂行力について評価します。レポート作成時間（1時間程度）を含みます。	9：20～12：00
	昼 食	12：10～12：50
	面接の基本的な資料とするための実地試験：講義理解力について評価します。レポート作成時間（1時間程度）を含みます。	13：00～14：30
	面 接（個別面接）	15：00～

5. 医学部保健学科 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

【学校推薦型選抜Ⅱ】

(1) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、令和7年度大学入学共通テストを受験し、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

各高等学校からの推薦は、看護学専攻3人以内、その他の専攻は2人以内とします。ただし、分校がある場合は、本校と合算して取り扱います。

- ① 高等学校を令和6年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 全体の学習成績の状況が4.0以上の方
- ③ 学力・人物に優れる方

(2) 募集人員

専攻	募集人員
看護学専攻	20
検査技術科学専攻	5
理学療法学専攻	6
作業療法学専攻	5
計	36

(3) 選考方法

大学入学共通テストを課し、以下の方法により選考を行います。

令和7年度大学入学共通テストにおいて、**本学部（学科）が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、学校推薦型選抜Ⅱを受験しても合格者とはなりません。**

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

《看護学専攻》

【選考方法】					学力の3要素					
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主			
	国	国	左の科目	100	○	○				
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世B、◎旧日B、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の13科目から1科目選択	50						
	数	数ⅠA、◎旧数ⅠA	左の2科目から1科目選択	50						
		数ⅡBC、◎旧数ⅡB、◎旧簿、◎旧情関	左の4科目から1科目選択	50						
	理	物、化、生	左の3科目から1科目選択	50						
	外	英	左の科目	100						
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50						
	小 計							450		
	個別試験等	教科等	科目等					配点	知	思
その他		面接		300				○	○	○
		調査書及びその他出願書類（面接の参考資料として活用）								
小 計				300						
合 計				750						

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

《検査技術科学専攻》

〔 選 考 方 法 〕					学力の3要素		
教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	100	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世B、◎旧日B、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の13科目から1科目選択	50			
	公民						
	数	数ⅠA、◎旧数ⅠA	左の2科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数ⅡB、◎旧簿、◎旧情関	左の4科目から1科目選択	100			
	理	物、化、生	左の3科目から2科目選択	200			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	100			
小 計			850				
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	面接		200	○	○	○
		調査書及びその他出願書類（面接の参考資料としても活用）		100			
小 計			300				
合 計			1150				

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

《理学療法学専攻》

〔 選 考 方 法 〕					学力の3要素		
教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	100	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世B、◎旧日B、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の13科目から1科目選択	50			
	公民						
	数	数ⅠA、◎旧数ⅠA	左の2科目から1科目選択	100			
		数ⅡBC、◎旧数ⅡB、◎旧簿、◎旧情関	左の4科目から1科目選択	100			
	理	物、化、生	左の3科目から2科目選択	200			
	外	英	左の科目	200			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50			
小 計			800				
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	面接		200	○	○	○
		調査書、推薦書（面接の参考資料として活用）					
		志望理由書		100			
小 計			300				
合 計			1100				

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

《作業療法学専攻》

【選考方法】					学力の3要素		
教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主	
大学入学共通テスト	国	国	左の科目	100	○	○	
	地歴	地地、歴日、歴世、地歴公、公倫、公政、◎旧世B、◎旧日B、◎旧地B、◎旧現社、◎旧倫、◎旧政、◎旧倫政	左の13科目から1科目選択	50			
	公民						
	数	数ⅠA、◎旧数ⅠA	左の2科目から1科目選択	50			
		数ⅡBC、◎旧数ⅡB、◎旧簿、◎旧情関	左の4科目から1科目選択	50			
	理	基礎、物、化、生 ※1	左の4科目から1科目選択	100			
	外	英	左の科目	150			
	情	情、◎旧情	左の2科目から1科目選択	50			
小 計			550				
個別試験等	教科等	科目等	配点	知	思	主	
	その他	面接	300	○	○	○	
		調査書及びその他出願書類（面接の参考資料として活用）					
		志望理由書	100				
小 計			400				
合 計			950				

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

※1 基礎は「地学基礎」を除きます。

(4) 採点・評価基準

専 攻	採点・評価基準
看護学専攻	専門への意欲・学習意欲・探求意欲・論理的思考・コミュニケーション能力・国際的視点などを総合的に評価します。
検査技術科学専攻	専門への意欲・学習意欲・探求意欲・論理的思考・コミュニケーション能力・自然科学系基礎学力などを総合的に評価します。
理学療法学専攻	専門への意欲・学習意欲・探求意欲・論理的思考・コミュニケーション能力・国際的視点などを総合的に評価します。
作業療法学専攻	専門への意欲・学習意欲・探求意欲・論理的思考・コミュニケーション能力・国際的視点などを総合的に評価します。

(5) 合否判定基準

専 攻	合否判定基準
看護学専攻	大学入学共通テストの成績並びに面接の結果、調査書及びその他出願書類（面接の参考資料としても活用）を得点化して判定します。
検査技術科学専攻	大学入学共通テストの成績並びに面接の結果、調査書及びその他出願書類（面接の参考資料としても活用）を得点化して判定します。
理学療法学専攻	大学入学共通テストの成績、面接の結果（調査書及び推薦書は面接の参考資料として活用します）及び志望理由書を得点化して判定します。
作業療法学専攻	大学入学共通テストの成績、面接の結果（調査書及びその他出願書類は面接の参考資料として活用します）及び志望理由書を得点化して判定します。

(6) 選抜期日及び時間

期 日	専 攻	試 験 科 目
		面 接
令和6年11月23日(土)	全専攻	9:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

6. 工学部 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>)

【総合型選抜Ⅰ】

(1) 出願資格及び出願要件

次の各号全てに該当し、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

- ① 高等学校の職業教育を主とする学科（専門教育に関する各教科の科目を 20 単位以上履修させるものとし、その分野は問いません。）を令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までに、卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 幅広い基礎学力を有し、本学において工学分野を勉強する強い意志を持つ方
- ③ 高等学校における「全体の学習成績の状況」が 4.0 以上の方
- ④ 国公立大学の他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願しない方

(2) 募集人員

学科	募集人員
物質化学科	1
電子情報システム工学科	6
水環境・土木工学科	1
機械システム工学科	3
建築学科	1
計	12

(3) 選考方法

大学入学共通テストは課さず、以下の個別試験等により選考を行います。

〔 選 考 方 法 〕				学力の 3 要素		
学科	教科等	科目等	配点	知	思	主
物質化学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				
電子情報システム工学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				
水環境・土木工学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				
機械システム工学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				
建築学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		スケッチ(面接の参考にする)				
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				

※ 建築学科は、黒鉛筆(4B)と消しゴム(練りゴム)を試験当日に持参してください。

(4) 採点・評価基準

学 科	採点・評価基準
物 質 化 学 科	学習意欲・積極性・活動性等の人物、勉学や将来への目的意識、英語・化学の基礎学力、面接での表現力を評価します。
電子情報システム工学科	積極性・勉学や将来への目的意識・発想力等の人物と基礎学力を総合して評価します。
水環境・土木工学科	学習意欲、積極性、基礎学力、課外活動、専門への関心の高さを総合して評価します。
機械システム工学科	学習意欲・行動力・発想力・創造力等の人物と理数系基礎学力を総合して評価します。
建 築 学 科	建築への関心の高さ、基礎学力、主体性や積極性を評価します。

(5) 合否判定基準

面接（口頭試問を含む）並びに調査書及びその他出願書類（面接の参考資料として活用）の結果を総合して判定します。また、建築学科は、スケッチ（面接の参考にする）を含みます。

特に面接（口頭試問を含む）の結果を重視します。

(6) 選抜期日及び時間

期日	学科	試験科目
		面接（口頭試問を含む）
令和6年11月23日（土）	全学科	9:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

※ 集合時刻は午前8:40とします。

※ 終了予定時刻は、志願者が確定次第、信州大学工学部ホームページでお知らせします。

(7) その他

出願時及び試験当日に面接のための資料等を提出・持参しないでください。ただし、建築学科においては面接時にポートフォリオ（A1サイズ以下）の持参を認めます。資格や受賞がある場合は、それを証明する書類の原本とコピー（提出用）を併せて持参してください。

【学校推薦型選抜Ⅰ】

(1) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部には推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 高等学校の学業成績が優秀な方
- ③ 次のいずれかに該当する方
 - a 高等学校での教科で特に誇れる良い成績の科目がある方
 - b 課外活動などで特に優れた成績を修めた方
 - c 特に誇れる資格がある方
 - d その他、特筆すべき優れた活動をした方

(2) 募集人員

学科	募集人員
物質化学科	7
電子情報システム工学科	24
水環境・土木工学科	7
機械システム工学科	12
建築学科	1
計	51

(3) 選考方法

大学入学共通テストは課さず、以下の個別試験等により選考を行います。

〔選考方法〕				学力の3要素		
学科	教科等	科目等	配点	知	思	主
物質化学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				
電子情報システム工学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				
水環境・土木工学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				
機械システム工学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				
建築学科	その他	面接(口頭試問を含む)	100	○	○	○
		スケッチ(面接の参考にする)				
		調査書及びその他出願書類 (面接の参考資料として活用)				

※ 建築学科は、黒鉛筆(4B)と消しゴム(練りゴム)を試験当日に持参してください。

(4) 採点・評価基準

学 科	採点・評価基準
物 質 化 学 科	学習意欲・積極性・活動性等の人物、勉学や将来への目的意識、英語・化学の基礎学力、面接での表現力を評価します。
電子情報システム工学科	積極性・勉学や将来への目的意識・発想力等の人物と基礎学力を総合して評価します。
水環境・土木工学科	学習意欲、積極性、基礎学力、課外活動、専門への関心の高さを総合して評価します。
機械システム工学科	学習意欲・行動力・発想力・創造力等の人物と理数系基礎学力を総合して評価します。
建 築 学 科	建築への関心の高さ、基礎学力、主体性や積極性を評価します。

(5) 合否判定基準

面接（口頭試問を含む）並びに調査書及びその他出願書類（面接の参考資料として活用）の結果を総合して判定します。また、建築学科は、スケッチ（面接の参考にする）を含みます。

特に面接（口頭試問を含む）の結果を重視します。

(6) 選抜期日及び時間

期日	学科	試験科目
		面接（口頭試問を含む）
令和6年11月23日（土）	全学科	9:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

※ 集合時刻は午前8:40とします。

※ 終了予定時刻は、志願者が確定次第、信州大学工学部ホームページでお知らせします。

(7) その他

出願時及び試験当日に面接のための資料等を提出・持参しないでください。ただし、建築学科においては面接時にポートフォリオ（A1サイズ以下）の持参を認めます。資格や受賞がある場合は、それを証明する書類の原本とコピー（提出用）を併せて持参してください。

7. 農学部 (<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/>)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

(1) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部には推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 全体の学習成績の状況が4.0以上の方
- ③ 学力、人物が優れ、かつ、志望学科・コースに対して強い関心と学習意欲を持つ方

(2) 募集人員

学科	コース	全学科対象 募集人員	職業教育を主とする 学科又は総合学科(※) 対象募集人員
農学生命科学科	生命・食品科学コース	9	6
	食料生産システム科学コース	15	
	山岳圏森林・環境共生学コース	9	
	地域協創特別コース	5	-
計		38	6

※ 職業教育に関する教科の科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した方を対象とします。

(注) 「職業教育を主とする学科又は総合学科対象」に該当する方が、「全学科対象」募集区分に出願することも可能です。ただし、「全学科対象」と「職業教育を主とする学科又は総合学科対象」の二つの募集区分に重複出願はできません。

(3) 選考方法

大学入学共通テストは課さず、以下の個別試験等により選考を行います。

【選考方法】				学力の3要素		
	教科等	科目等	配点	知	思	主
個別試験等	その他	理系総合問題(英文を含む)	200	○	○	
		面接(口頭試問を含む)	200	○	○	○
		調査書及びその他出願書類(面接の参考資料として活用)				
	合計			400		

理系総合問題は、全コース共通の理系英語問題と選択式の理系問題を出題します。

- ① 理系英語問題：農学系分野の一般的な内容について、英文を含んだ形で出題します。
- ② 理系問題：出願時に登録した志望コースの出題範囲の問題1題と、出願時に登録した志望コースの出題範囲とは別の出題範囲の問題1題の計2題の問題を解答してください。

コース別の理系問題の出題範囲は次のとおりです。

コース	出題範囲
生命・食品科学コース	化学・生物に関する基礎的内容
食料生産システム科学コース 地域協創特別コース	生物に関する基礎的内容
山岳圏森林・環境共生学コース	理科・農業に関する基礎的内容

(4) 採点・評価基準

① 理系総合問題（英文を含む）

理系総合問題は、与えられた課題を的確に認識する能力、論理的に思考する能力、表現能力及び出題内容に関する基礎知識を総合して評価します。

② 面接（口頭試問を含む）

面接は、学習意欲・将来性・創造性などを総合して評価します。なお、調査書及びその他出願書類を面接の参考資料として活用します。

(5) 合否判定基準

理系総合問題及び面接の結果を総合して判定します。

(6) 選抜期日及び時間

期 日	学 科	コ ー ス	試 験 科 目	
			理系総合問題	面接
令和6年11月16日（土）	農学生命科学科	全コース	9:30～11:30	13:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

※ 集合時刻は午前9:00とします。

(7) その他

- ① 「職業教育を主とする学科又は総合学科対象」枠で学校推薦型選抜に合格した方の所属コースは、出願登録サイトで登録した志望コースとなります。出願登録サイトで登録したものからの変更は認めません。
- ② 山岳圏森林・環境共生学コースにおいては、学校推薦型選抜で合格した方に対し、入学前の学習を義務づけています。詳細については、合格発表後にお知らせします。
- ③ 「職業教育を主とする学科又は総合学科対象」枠で学校推薦型選抜に合格した方に対し、入学前の学習（数学・理科・英語）を義務づけています。詳細については、合格発表後にお知らせします。

8. 繊維学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

(1) 出願資格及び推薦要件

次の①から③までの各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部には推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 人物及び高等学校の学習成績が優れている方
- ③ 志望する学科の教育目標に合致する強い学習意欲を持つとともに、幅広い基礎学力を有し、繊維学部での学修を経て社会に貢献しようとする強い意志を持つ方

(2) 募集人員

学 科	全学科対象募集人員	職業教育を主とする学科対象募集人員
	高等学校の各学科	高等学校の職業教育を主とする学科
先進繊維・感性工学科	21	2
機械・ロボット学科	10	-
化学・材料学科	19	1 (工業に関する学科のみ対象)
応用生物科学科	12	-
計	62	3

※ 「職業教育を主とする学科」に該当する方が、「全学科対象」募集区分に出願することも可能です。ただし、「全学科対象」と「職業教育を主とする学科対象」の二つの募集区分に重複出願はできません。

(3) 選考方法

大学入学共通テストは課さず、以下の個別試験等により選考を行います。

【選考方法】				学力の3要素		
学科	教科等	科目等	配点	知	思	主
先進繊維・感性工学科	その他	面接(口頭試問を含む)	200	○	○	○
		面接の参考とするための基礎学力テスト (数学・物理・化学の基礎的内容) ※1				
		出願書類(調査書、推薦書、志望理由書)				
機械・ロボット学科	その他	面接(口頭試問を含む)	200	○	○	○
		面接の参考とするための基礎学力テスト (数学・物理の基礎的内容) ※1				
		出願書類(調査書、推薦書、志望理由書)				
化学・材料学科	その他	面接(口頭試問を含む)	200	○	○	○
		面接の参考とするための基礎学力テスト (化学・物理・数学・英語の基礎的内容) ※1				
		出願書類(調査書、推薦書、志望理由書)				
応用生物科学科	その他	面接(口頭試問を含む)	200	○	○	○
		面接の参考とするための基礎学力テスト (化学・生物・英語の基礎的内容) ※1				
		出願書類(調査書、推薦書、志望理由書)				

※1 基礎学力テストの出題範囲について

面接の参考とするための基礎学力テストの出題範囲は、高等学校学習指導要領に示されている学習内容のうちの下記の範囲とし、設問は高等学校教科書の章末問題と同程度の水準とします。なお、各教科・科目とも旧教育課程履修者が不利にならないように出題します。

教科	科目	出題範囲
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ	全内容
	数学A	(1) 図形の性質、(2) 場合の数と確率
	数学B	(1) 数列
	数学C	(1) ベクトル、(2) 平面上の曲線と複素数平面
理科	物理基礎、化学基礎、 生物基礎	全内容
	物理	(1) 様々な運動、(2) 波、(3) 電気と磁気
	化学	(1) 物質の状態と平衡、(2) 物質の変化と平衡、 (3) 無機物質の性質、(4) 有機化合物の性質
	生物	(1) 生物の進化、(2) 生命現象と物質、(3) 遺伝情報の発 現と発生、(4) 生物の環境応答
英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コ ミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ	全内容

(4) 採点・評価基準

学科	採点・評価基準
先進 繊維 ・ 感性 工 学 科	<p>先進繊維・感性工学科では、繊維製品をはじめとした広範な分野で新しい製品の価値を創造できる技術者の育成と、感性を知り感性を活用することにより人間の視点から新しい製品やサービスをデザインし、幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指しています。そのための能力、学力、適性を、面接の参考とするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。</p> <p>基礎学力テストでは、先進繊維・感性工学科で学ぶに際して不可欠な数学、物理、化学の学力を確認します。</p> <p>面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに志望動機、熱意、コミュニケーション能力などを評価します。</p>
機 械 ・ ロ ボ ッ ト 学 科	<p>機械・ロボット学科では、機械工学とロボット学を横断的に学び、ものづくりの分野で幅広く活躍できる人材の育成を目指しており、そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。</p> <p>基礎学力テストは機械・ロボット学科で学ぶに際して不可欠な数学と物理の学力を確認します。</p> <p>面接では、志望動機、熱意、コミュニケーション能力、将来への抱負、課外活動や社会活動などから見た高校生活の充実度などを評価します。</p> <p>なお、面接では高校での履修状況と理解度を確認するための簡単な試問も行います。</p>
化 学 ・ 材 料 学 科	<p>化学・材料学科では、環境を重視し持続可能な社会実現に向けて幅広く活躍できる化学を基礎とする人材の育成を目指しており、そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。</p> <p>基礎学力テストは化学・材料学科で学ぶに際して不可欠な化学、物理、数学、英語の学力を確認します。</p> <p>面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに、志望動機、熱意、コミュニケーション能力、将来への抱負、課外活動や社会活動などから見た高校生活の充実度などを評価します。</p>

応用 生物 科学 科	<p>応用生物科学科では、「DNAから生態系まで」幅広い生命現象について教育と研究を行っています。これらを私たちの生活向上に利用するために、応用生物科学の分野で幅広く活躍できる人材の育成を目指します。そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。</p> <p>基礎学力テストでは応用生物科学科で学ぶに際して不可欠な化学、生物、英語の学力を確認します。</p> <p>面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに、志望動機やコミュニケーション能力なども評価します。</p>
---------------------	--

(5) 合否判定基準

面接の参考とするための基礎学力テスト、面接（口頭試問を含む）を複数の面接・採点員によって点数化し、調査書（全体の学習成績の状況など）、推薦書及び志望理由書の内容を考慮し、総合して判定します。

(6) 選抜期日及び時間

期 日	学科	試 験 内 容	
		面接の参考とするための 基礎学力テスト	面接
令和6年11月23日（土）	全学科	9:00～	13:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

(1) 出願資格及び推薦要件

次の①から③までの各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、令和7年度大学入学共通テストを受験し、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部に推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 人物及び高等学校の学習成績が優れている方
- ③ 志望する学科の教育目標に合致する強い学習意欲を持つとともに、幅広い基礎学力を有し、繊維学部での学修を経て社会に貢献しようとする強い意志を持つ方

また、信州大学繊維学部の学校推薦型選抜Ⅰに不合格となった方は、同一学科を志望する場合に限り、信州大学繊維学部の学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

(2) 募集人員

学 科	対象となる高等学校の範囲	募集人員
先進繊維・感性工学科	高等学校の各学科	3
機械・ロボット学科	高等学校の各学科	3
化学・材料学科	高等学校の各学科	3
計		9

(3) 選考方法

《先進繊維・感性工学科、機械・ロボット学科、化学・材料学科》

【選考方法】					学力の3要素		
大学入学共通テスト	教科	科目	受験を要する科目等	配点	知	思	主
	数	数ⅠA、◎旧数ⅠA	数ⅠA、◎旧数ⅠA	左の2科目から1科目選択			
数ⅡBC、◎旧数ⅡB				左の2科目から1科目選択	100		
理		物、化、生	左の3科目から1科目選択	200			
外		英	左の科目	200			
小 計				600			
個別試験等	教科等	科目等		配点	知	思	主
	その他	出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）		10	○	○	○
合 計				610			

【大学入学共通テスト】欄

30 ページからの「1. 各選抜に共通する事項」も参照してください。

(4) 採点・評価基準


大学入学共通テストの成績及び出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）を得点化して評価します。

(5) 合否判定基準

大学入学共通テストの成績及び出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）を得点化して判定します。

IV 各学部試験場案内

各学部とも以下の試験場で実施します。詳細については、本学のホームページ（入試情報ポータル/インターネット出願 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）から〈受験者心得〉にアクセスし、各学部の注意事項を確認してください。

学部	試験場連絡先・交通案内	試験場略図
経法学部・理学部・医学部(保健学科)	<p>松本キャンパス 松本市旭 3-1-1 経法学部 Tel 0263-37-3312 理学部 Tel 0263-37-2439 医学部保健学科 Tel 0263-37-2357</p> <p>○ JR松本駅お城口（東口）23番のりばからアルピコバス“信大横田循環線”又は“浅間線”に乗車（約15分）、「信州大学前」下車（経法学部は「大学西門」下車）、徒歩2分。</p>	
教育学部	<p>長野（教育）キャンパス 長野市西長野 6 の口 Tel 026-238-4044</p> <p>○ JR長野駅善光寺口4番のりばで、長野市循環バス『ぐるりん号』に乗車（15分）、バス停「信大教育学部前」下車して道路を挟んで正面に長野（教育）キャンパスがあります。（徒歩2分）</p> <p>○ JR長野駅善光寺口1番のりばで、アルピコバス“善光寺大門行き（びんずる号）”“善光寺経由宇木行き”“善光寺・西条経由若槻東条行き”“善光寺・若槻団地経由若槻東条行き”のいずれかに乗車（10分）、「花の小路」下車、徒歩7分。</p> <p>○ JR長野駅善光寺口7番のりばで、アルピコバス、“県道経由戸隠中社行き”“鬼無里行き”“西裾花台団地行き”のいずれかに乗車（10分）、バス停「信大教育学部前」下車して道路を挟んで正面に長野（教育）キャンパスがあります。（徒歩2分）</p>	
工学部	<p>長野（工学）キャンパス 長野市若里 4-17-1 Tel 026-269-5055</p> <p>○ JR長野駅東口から徒歩約20分。</p> <p>○ JR長野駅東口21番のりばで、長電バス“日赤線”に乗車（5分）、「信大工学部」で下車、正門まで徒歩2分。（土休日運休）</p> <p>○ JR長野駅善光寺口2番のりばで、アルピコバス“日赤線経由大塚南行き”“松岡行き”“ビッグハット行き”のいずれかに乗車（8分）、「信大工学部前」下車、正門まで徒歩5分。</p>	

学部	試験場連絡先・交通案内	試験場略図
農学部	<p>伊那キャンパス 上伊那郡南箕輪村 8304 TEL 0265-77-1310</p> <p>○ 中央道高速バス「中央道伊那インター」又は「伊那インター前」下車、徒歩12～15分。</p> <p>○ JR 飯田線伊那市駅下車、駅から南西へ徒歩3分の伊那バスターミナル「伊那営業所」から西箕輪線に乗車(17分)、「大学入口」下車、徒歩5分。 路線バスは本数が少ないので、注意してください。</p>	 <p>The map shows the Ina Campus area. Key locations include: 伊那キャンパス (Ina Campus), 伊那I.C. (Ina I.C.), 伊那中央病院 (Ina Central Hospital), 伊那市駅 (Ina City Station), 伊那バスターミナル「伊那営業所」 (Ina Bus Terminal 'Ina Office'), 伊那インター前 (Ina Interchange Front), 伊那インター (Ina Interchange), 伊那大学入口 (Ina University Entrance), and 伊那営業所 (Ina Office). Major roads like 中央道 (Route 153) and 飯田線 (Ina Line) are shown. A north arrow is present in the top right.</p>
繊維学部	<p>上田キャンパス 上田市常田 3-15-1 TEL 0268-21-5310</p> <p>○ JR・しなの鉄道上田駅お城口から徒歩20分。又はタクシーで5分。</p> <p>○ JR・しなの鉄道上田駅お城口バス停1番のりばから千曲バス“鹿教湯線丸子・鹿教湯方面行”に乗車(3分)、「イオン上田前」下車、徒歩5分。</p> <p>○ JR・しなの鉄道上田駅お城口を出てバス停2番のりばから上田バス“久保林線久保林公民館前行”乗車(3分)、「イオン上田前」下車、徒歩5分。</p>	 <p>The map shows the Utsunomiya Campus area. Key locations include: 上田キャンパス (Utsunomiya Campus), 上田郵便局 (Utsunomiya Post Office), 上田城跡 (Utsunomiya Castle Ruins), 上田市役所 (Utsunomiya City Office), イオン上田ショッピングセンター (Aeon Utsunomiya Shopping Center), 北陸新幹線 (Tohoku Shinkansen), しなの鉄道 (Shinano Railway), 上田駅 (Utsunomiya Station), アリオ上田 (Ario Utsunomiya), 千曲川 (Katsuragi River), and 上田電鉄別所線 (Utsunomiya Electric Railway Bessho Line). Major roads like 18号線 and 149号線 are shown. A north arrow is present in the top right.</p>

■ この要項に関する問い合わせ先

教育学部入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	TEL026-238-4044
経法学部入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL0263-37-3312
理学部入試事務室	〃	TEL0263-37-2439
医学部保健学科入試事務室	〃	TEL0263-37-2357
工学部入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4-17-1	TEL026-269-5055
農学部入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304	TEL0265-77-1310
繊維学部入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3-15-1	TEL0268-21-5310
学務部入試課	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL0263-37-2195

■ 信州大学入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/



発行: 信州大学(令和 6 年 6 月) 編集: 信州大学学務部入試課